

わが国では、少子超高齢社会の人口及び疾病構造を見据えた社会保障制度改革、特に地域包括ケアシステムの構築、医師の働き方改革などの医療提供体制の再構築に向けた取り組みや、少子化対策・子ども政策の強化、女性・高齢者の労働参加が進められている。

さらに、団塊ジュニアが高齢者となる一方で支える人口が減少するなどの様々な社会情勢の大きな変化が見込まれる2040年に向け、一層の制度や体制の整備が求められており、県において「県民一人ひとりが、健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる総合的な保健医療福祉システムづくり」を基本理念とした第8次医療計画が策定された。

このような状況の中、全国的な課題である看護職不足は継続しており、本県の従事者数は令和4年末現在62,016人で人口10万人当たりの職員数は全国45位と低い水準にあり、看護職の定着・確保対策は重要課題である。病院や訪問看護ステーションに勤務する看護職の離職率は高止まりの傾向にあり、労働環境・処遇改善など働き続けられる環境づくりの推進に取り組むとともに、次世代を担う人材の確保やプラチナナースの活躍推進がますます重要になっている。

令和5年10月に改正された「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」には、量的確保と資質向上を図りながら看護職の確保を推進する方向性が示された。

県民の健康上のニーズの増大や、デジタル改革等の社会の変化に対応し、看護職が役割を発揮するためには、新たな知識や技術を学び直すため看護職自身が生涯学習に主体的に取り組み、自らキャリア形成に努めること、職能団体や所属する組織には生涯学習を支援する役割が求められている。

さらに、県民に質の高い看護を提供するためには、専門・認定看護師、認定看護管理者、特定行為研修修了者等の活躍促進に向けた取り組みが重要である。

また、少子超高齢社会に向けて、医療は病院完結型から地域完結型への移行が加速しており、出生前から人生の最終段階に至る全世代を対象に、施設や地域等あらゆる場所で健康の保持増進から看取りまでを専門職や地域住民、自治体等が協働して支える共生社会のしくみである「全世代を対象とした地域包括ケアシステム」の構築・推進が必要である。加えて、近年の広範囲にわたる災害や新興感染症など県民の生命と生活を脅かす健康危機に対応する体制強化も重要である。

看護職の機能と役割を十分に発揮するため、千葉県、市町村と連携した政策策定への参画と看護政策の推進が重要となる。職能団体として、看護職に関わる様々な課題の解決を進め、地域の各実践の場において、看護職が的確に役割を果たすためには、医療・看護に係る政策の推進役となる本協会が、戦略的・継続的に看護政策を推進する力をつけていくことが必要となっている。そのためには、入会促進活動の推進により会員数を維持するとともに、職能間の連携強化が重要である。

以上により、令和7年度本協会は、社会の動向を見据え、看護職が果たすべき役割を見極めながら、看護の専門性を発揮し、県民の健康な生活を支えるべく、令和6年度に取り組んできた5つの重点事業を充実し、「地域における看護職の定着・確保の推進」「質の高い看護の提供体制の構築・推進」「全世代の健康を支える地域包括ケアの推進」「地域における健康危機管理体制の強化」「組織基盤の強化」とし、事業を展開する。

令和7年度 重点事業

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える地域包括ケアの推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

実施内容：

- 1-1 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価
- 1-2 健康で安全な職場づくりの推進
- 1-3 安定的な定着・確保対策の実践（ナースセンター事業）
- 1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

- 2-1 生涯学習支援
- 2-2 看護研究学会の充実
- 2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発
- 2-4 特定行為研修制度の普及・活用
- 2-5 医療安全対策の推進

- 3-1 全世代を対象とした看護提供体制の強化
- 3-2 訪問看護の推進

- 4-1 災害発生時の対応体制の整備
- 4-2 新興感染症等パンデミックへの対応体制の整備

- 5-1 会員の定着・確保
- 5-2 看護政策推進力の強化

1 地域における看護職の定着・確保の推進

実施内容

1-1 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価

- 1) 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価
- 2) 第6次看護職定着・確保推進計画の策定
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

本県は慢性的な看護職不足が続いており、地域偏在や領域別偏在が指摘されている。

このような中で、令和3年度から5年間の計画である第5次看護職定着・確保推進計画を作成し、「質の高い看護を提供するため看護職が働き続けられる環境づくりの推進」を目標として推進してきた。令和7年度は計画の最終年となることから、看護職定着確保対策協議会及び作業部会において、第5次計画を評価して第6次計画を策定し、引き続き看護職の定着・確保に取り組む。

成果

- 1) 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価
- 2) 第6次看護職定着・確保推進計画の策定
作業部会 8/19 9/24 10/22 1/19
協議会 12/25 2/4（書面会議）
- 3) 看護職定着確保対策事業の普及啓発
(1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報掲載継続

1 地域における看護職の定着・確保の推進

実施内容

1-2 健康で安全な職場づくりの推進

- 1) ヘルシーワークプレイスの推進
- 2) ヘルシーワークプレイス推進のための相談支援
- 3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県では慢性的な看護職不足や離職率が高い状況が続いており、看護職定着・確保推進計画の方策の柱の一つとして「看護職が働き続けられる環境づくりへの支援」を掲げ、ヘルシーワークプレイス推進事業等に取り組んでいる。これまで、ヘルシーワークプレイスガイドライン（日本看護協会2004年度策定）の活用を図りながら、ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援や、会員施設の交流等を通して、県内施設が健康で安全な職場を目指せるよう支援してきた。相談窓口にはハラスメントや労働条件等の相談が寄せられており、看護職が働き続けられる環境づくりへの支援は重要であるため引き続き事業を推進する。

成果

- 1) ヘルシーワークプレイスの推進
 - (1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 3件
 - (2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間（10/1～10/7）」の推進
ヘルシーワークプレイス交流会 10/7 参加者91名
- 2) ヘルシーワークプレイス推進のための相談支援
 - (1) 相談 34件 相談案内カード・チラシを随時配布
 - (2) 施設支援 30件
- 3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習）

1 地域における看護職の定着・確保の推進

実施内容

1-3 安定的な定着・確保対策の実践（ナースセンター事業）

- 1) 看護職の定着確保に係る実態調査
- 2) 看護職の無料職業紹介
- 3) 未就業看護職の就業支援
- 4) 看護職への相談支援
- 5) 看護進路相談事業

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づき、千葉県から看護協会が「千葉県ナースセンター」として指定を受け事業を実施している。

千葉県の就業看護職員数は、令和4年の従事者届によると62,016人と2年前に比較し894人増加しているが、人口10万対で989.7人（全国45位）と厳しい水準にあり、2025年には約8,800人の看護職が不足すると見込まれている。

有料職業紹介事業所等が増加する中、ナースセンターの求職登録数は減少しており、登録促進と求人施設とのマッチングの強化が課題である。特に、60歳以上のプラチナナースや非常勤の雇用を希望する求職者が増加傾向にあり、求人施設の開拓が必要である。

また、求人施設の紹介料の負担軽減を図るためにも、ナースセンターの認知度を高め、求人施設・求職者の活用拡大を図ることが必要である。

なお、令和5年10月に「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が改正され、ナースセンターの役割として盛り込まれた看護師等のスキルアップ支援や、デジタル改革関連法を踏まえた看護職の人材活用システムの運用等について、看護職が活用できるよう啓発する。

成果

1) 看護職の定着・確保に係る実態調査

(1) 病院看護管理者

287施設に5/9～5/28の期間で実施 回収率 55.4%

(2) 未就業看護職

153名に5/9～5/30の期間で実施 回収率 14.4%

(3) 新人看護職

596会員施設及びフレッシュセミナー集合研修参加者に9/30～10/16の期間で実施
回答数659名

(4) 訪問看護ステーション管理者

714施設に6/16～6/30の期間で実施 回収率 27.7%

(5) 統括保健師

県1名、市町村54名に6/16～6/30の期間で実施 回収率 70.9%

(6) 再就業者

164名に5/30～6/20の期間で実施 回収率 45.7%

2) 看護職の無料職業紹介

eナースセンター利用者数 11,094名

新規求人数 1,515名

紹介者数 356名

就職者数 412名

3) 未就業看護職の就業支援

(1) 看護基礎技術講習会 62回 (参加者 実74名 延129名 就業者47名)

(2) 合同就職説明会 7/30 集合開催 参加求人施設11か所 参加者 20名

11/6 集合開催 参加求人施設30か所 参加者 16名

(3) 求人情報発行 4回発行 (6月 9月 12月 3月)

(4) 公共職業安定所出張相談 78回 相談 200名

社会福祉協議会と連携した出張相談 3回 相談 8名

(5) サテライト事業の推進

公共職業安定所出張相談会 (再掲)

合同就職説明会の開催 (再掲)

(6) 就業支援 面接 175名 電話 1,169名 メール 2,690名 オンライン 6名

(7) プラチナナース研修会 7/25 ハイブリッド開催 集合 18名 オンライン 60名

(8) 相談者就業確認 メールでの就業確認

発送数 7,298名

就業者 108名

メール返信のない支援者へはがきでの就業確認

発送数 203名

就業者数 21名

(9) 未就業看護職へのe-ラーニング研修 学研ナーシングサポート 参加者28名

ビジュアルナーシングメソッド 参加者25名

(10) 訪問看護基礎研修会 7/29 9/4 Web 10/23 12/9 参加者33名

4) 看護職への相談支援 4,040名

5) 看護進路相談事業

(1) 出前授業 実施校 41校 (小学校 11校 中学校 23校 高等学校 6校 中高一貫校 1校)

参加者 3,966名

(2) ふれあい看護体験 協力施設 88施設 実施回数 127施設 参加者 670名

(3) 進路相談 25件

1 地域における看護職の定着・確保の推進

実施内容

1-4 看護職の魅力の発信による次世代を担う人材の確保

- 1) 「看護の日・看護週間」
- 2) 看護進路相談事業（再掲）

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

21世紀の高齢社会を支えていくため、看護の心、ケアの心、助け合いの心を誰もが育むきっかけになるよう、1990年に国は5月12日を「看護の日」、その日を含む日曜日から土曜日までを「看護週間」に定めた。18歳人口が減少し看護人材が不足することから、2030年には18歳人口の18人に1人に看護の仕事を選択してもらう必要がある。そのため、2021年から2030年度の「看護の日・看護週間」事業ではメインテーマ“看護の心をみんなのところに”を伝えるとともに、対象を主に若年層として「看護の人材確保」を目的とした事業を実施していく（日本看護協会）。千葉県においても2025年には約8,800人の看護師不足が推計されている。

本協会では、令和3年度より「看護の日・看護週間」を中央行事として位置づけ、地区行事とも連動し、次世代を担う人材の確保に努めている。

県内の学校に通う児童・生徒や保護者、学校の進路相談担当者を対象とした進路相談、また、出前授業やふれあい看護体験により、看護についての知識や理解を深め、看護人材の確保につなげられるよう進めていく。

成果

1) 「看護の日・看護週間」

テーマ 看護の力を未来へつなげよう

中央行事 4/15～21 開催 そごう千葉店地階ギャラリー パネル展示

地区行事 5/10～17 開催 各地区部会 参加者 1,465名

2) 看護進路相談事業（再掲）

(1) 出前授業 実施校 41校（小学校 11校 中学校 23校 高等学校 6校 中高一貫校 1校）

参加者 3,966名

(2) ふれあい看護体験 協力施設 88施設 実施回数 127施設 参加者 670名

(3) 進路相談 25件

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

実施内容

2-1 生涯学習支援

- 1) 専門職としての活動の基盤となる研修
- 2) 看護・医療政策に関する研修
- 3) 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
- 4) 看護管理者を対象とした研修
- 5) 資格認定教育

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

日本は、少子超高齢化の進行、人々の価値観の変化等により、健康上のニーズは増大し、多様化・複雑化している。また、デジタル化や持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けた取り組みの推進、人生100年時代の到来等により、社会全体も様々に変化している。

それに伴い、看護職の活躍する領域や場の多様化が進み、社会から看護職の役割発揮が期待されている。その期待に応えるためには、看護職が各自のライフイベントや価値観に応じて、仕事と生活の調和を図りながら自律的に学ぶことが求められる。

当協会では、令和5年6月に日本看護協会が公表した「看護職の生涯学習ガイドライン」等に鑑みて、個々の看護職が専門職として自己研鑽でき、所属する組織及び地域等のニーズにも対応できるような実践的で活用しやすい研修を、検討し実施していく必要がある。

また、対面研修とWeb配信研修の特徴を活かし、研修内容に合わせて研修方法を選択し、受講しやすく効果が最大限になるように、研修を企画し実施していく。

成果

1. 生涯学習支援

研修開催状況（P78～81参照）

110研修実施 111研修中 3研修中止 2研修追加（県委託及びトピックス研修）

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

実施内容

2-2 看護研究学会の充実

1) 千葉県看護研究学会の充実

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

看護研究を行うことは、科学的根拠に基づく看護を実践することにつながり、看護の質の向上を目指した活動であり、専門職としての責務でもある。本協会では昭和57年度から研究発表を行う場として看護研究学会を毎年1回開催してきた。しかし、令和元年度以降、演題応募数が減少傾向にある。

臨床現場において質の高い看護を提供するためには、看護研究に取り組み、研究結果として得られた新知見を発表し共有できる看護研究学会の開催意義は大きい。そこで、演題数及び参加者数の増加を図るため、令和4年度からは実践報告を加え、令和5年度からは交流集会を取り入れた。

さらに、看護研究に必須となった倫理審査を受けやすいように、令和5年度より倫理審査委員会を設置し、看護研究に取り組めるように支援を継続していく。

成果

1) 千葉県看護研究学会の充実

第43回千葉県看護研究学会 11/1

テーマ 未来の看護を創る—私たちの挑戦—

特別講演

演題 研究発表 21演題

実践報告 13演題

交流集会 4演題 計38演題（26施設）

ランチョンセミナー

参加者 232名（看護職 203名 学生 29名）

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

実施内容

2-3 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進に向けた啓発

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
 - (1) 専門・認定看護師等の理解と資格取得の推進
 - (2) 専門・認定看護師・認定看護管理者の登録制の活用推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成6年に資格認定制度が発足し、診療報酬加算の要件に専門看護師・認定看護師の配置が規定されていることもあり、専門・認定看護師制度の普及は進んでいる。令和5年12月現在の千葉県に登録者数は、専門看護師129名、認定看護師893名となった。令和2年以降の新型コロナウイルス感染症対策においては、感染の分野の専門看護師・認定看護師が専門性を発揮して活動したことで、専門性の高い看護職の担う役割の重要性が認知された。

令和4年12月の日本看護協会認定部の調査によると、認定看護師が所属している病院の割合は、200～299床で65.1%、150～199床で48.0%と令和3年の調査より増加している。しかし、150床未満では17.0%であり、小規模病院における認定看護師の資格取得・就業に課題がある。

今後もチーム医療を推進していく中で看護の専門性を発揮するためには、より専門的で質の高い知識や技術を持ったスペシャリストの育成は不可欠である。組織として資格取得と活動を支援できるよう、活用可能な情報を適宜発信していく必要がある。さらに、スペシャリストナースを目指すきっかけとなる研修を企画し実施していく。

また、研修等で指導・支援可能な県内の専門看護師・認定看護師の状況を把握し、人材登録を推進し、県内のスペシャリストナースを可視化し、その活動及び活躍の場を拡大していく。

成果

- 1) 専門・認定看護師制度の普及・活用
 - (1) 生涯学習研修の担当講師
専門・認定看護師の講師 29研修 65名
 - (2) 講師等人材登録 登録者数 71名 12施設（新規登録者22名）
講師等人材登録 活用依頼 2件

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

実施内容

2-4 特定行為研修制度の普及・活用

1) 特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

チーム医療を推進し、看護師がさらに役割を発揮するために、平成27年10月に「特定行為に係る研修制度」が施行され、令和元年度の認定看護師制度改正により、認定看護師教育課程に特定行為研修が組み込まれ、令和3年度から活動を開始している。

日本看護協会の「看護の将来ビジョン」（平成27年）において、特定行為研修制度を通して、高度な看護を実践する能力を持つ看護職の育成を推進するとしており、少子超高齢社会における地域・国民のニーズに積極的に応えるため、制度の活用の推進が求められている。また、チーム医療及び医師の働き方改革を推進する観点からタスク・シフティングを進めるためにも、この制度の普及と活用が重要である。

令和5年に、全国の特定行為研修修了者は6,875人、研修機関は46都道府県で373機関となり、千葉県においては、282人、9機関と増加してきている。質の高い看護の提供体制の構築を目指し、本協会の会員施設及び会員に対して特定行為研修制度の理解促進のために、特定行為研修修了者の活動や指定研修機関の研修生受け入れに関する情報提供等を行う。

成果

1) 特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

・施設等会員代表者会

千葉県における特定行為研修に関する課題と今後の活用について 1/20 152名

・在宅療養を支える多職種向け研修会

在宅領域における特定行為研修修了者の活動の実際と連携 2/19 24名

2 質の高い看護の提供体制の構築・推進

実施内容

2-5 医療安全対策の推進

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
- 2) 医療安全の推進
- 3) 医療安全管理者の育成
- 4) 関係機関等との連携促進

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

平成11年の患者取違い事故以降、国は医療機関における医療安全管理体制の整備を進めてきた。また、日本看護協会及び本会においても、看護の質向上により看護職が安全に安心して働き続けられる環境づくりを目指し、医療安全対策を推進してきた。

平成17年より「医療安全推進週間」に合わせて、多職種参加の医療安全大会の開催や医療安全に関する標語を募集しポスターにして配布する等、県内の医療従事者の、医療安全への意識の向上と普及啓発を図ってきた。令和4年からは、医療安全に関するチーム活動を募集し、多職種協働の推進も強化してきた。

医療安全対策の推進に注力してから20年以上が経過し、医療安全対策は一定の成果をあげていると推察される。今後は、関係機関等との共同開催研修等により、多職種及び地域連携を強化していく必要がある。

さらに、平成31年の世界保健機関の総会において、患者安全を促進することへの人々の意識・関心を高め、国際的な理解を深めるため、9月17日が「世界患者安全の日」と制定された。「医療安全推進週間」とともに、医療安全文化の醸成に向けた取り組みを、現状に合わせて見直し継続していく。

成果

- 1) 医療・看護に関する相談支援・情報提供
情報提供（「世界患者安全の日」の啓発等）
ホームページへの掲載
- 2) 医療安全の推進
医療安全推進講座の開催 11/10 参加者 104名
テーマ 医療版失敗学のすすめ～入門編～
医療安全推進の普及啓発
医療安全に関する標語 応募総数 58施設
- 3) 医療安全管理者の育成
医療安全担当者中央交流会 第1回 9/8 参加者 67名
第2回 1/14 参加者 57名
医療安全担当者地区交流会 参加者 計70名（看護職49名 看護職以外21名）
市川地区 7/30 参加者31名（看護職23名 看護職以外8名）
船橋地区 8/20 参加者39名（看護職26名 看護職以外13名）

3 全世代の健康を支える地域包括ケアの推進

実施内容

3-1 全世代を対象とした看護提供体制の強化

- 1) 四職能委員会の活動の充実
- 2) 四職能間の連携強化
- 3) 地域医療に係る関連会議への参画

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

千葉県は、令和5（2023）年の総務省の調査によると、65歳以上が占める割合は28.1%と令和2年国勢調査結果の27.1%より1.0ポイント上昇し高齢化が進んでいる。医療は病院完結型から地域完結型へと移行し、住み慣れた地域社会で暮らす医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）が増加し、全世代を対象とした地域包括ケアの取り組みが推進されている。地域において疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず全世代を対象に生活全般を支援をする看護職が協働して各職能の機能を発揮し、関係機関・多職種との連携を推進する必要がある。看護職がその機能を発揮するためには、自治体で策定される医療計画・地域医療構想、介護保険事業計画等の策定会議への参画、関係機関・団体との連携体制の構築、看看連携や多職種とのネットワークづくり（地域連携）が必要である。会議等において、看護の視点で地域の課題を検討し、実情に応じた課題解決ができるように働きかける。

成果

- 2) 四職能間の連携強化
四職能委員会合同会議 5/23 8/18 2/19
- 3) 地域医療に係る関連会議への参画 122回

3 全世代の健康を支える地域包括ケアの推進

実施内容

3-2 訪問看護の推進

- 1) 訪問看護の普及啓発
- 2) 訪問看護師の定着支援

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

少子超高齢社会において医療は、病院完結型から地域完結型へと移行し、医療依存度の高い在宅療養者（児）や障がい者（児）など、全世代を対象とした地域包括ケアシステムの推進が求められている。また令和6年7月に在宅医療に関する千葉県の調査では、在宅医療を選択する県民が、令和2年に行われた調査結果より3.6ポイント上昇し、36.0%だった。疾病・障がい・健康等の状態にかかわらず、その人の思いや希望が尊重され、住み慣れた居宅や地域でその人らしく暮らし続けることができる環境が必要である。在宅医療が推進されるなか、訪問看護の利用者は小児から高齢者まで幅広い年齢で増加を続けている。訪問看護師がその機能を発揮し、関係機関や多職種と連携を推進していくためにも、訪問看護師の数（量）と質の担保は重要な課題である。訪問看護師への職業選択支援として看護学生へのガイダンスを継続して行い、また働き続けられる就業環境への支援を継続する。

成果

1) 訪問看護の普及啓発

ホームページ掲載（訪問看護・看多機の利用や相談窓口について）

学生向け訪問看護ガイダンス 開催希望13校 実施 11校

2) 訪問看護師の定着支援

訪問看護就職フェア 7/29 参加者10名

訪問看護ステーション見学体験（8～1月）見学者5名

訪問看護師指導者育成研修会 10/11 Web 参加者27名 11/18 Web 参加者26名

地域連携フォーラム 11/29 Web 参加者29名

訪問看護病院経営者（看護管理者）講習会 12/16 Web 参加者81名

4 地域における健康危機管理体制の強化

実施内容

4-1 災害発生時の対応体制の整備

- 1) 災害関連主要会議への参加と連携強化
- 2) 関係機関との連携・情報共有
- 3) 災害に備えた体制の整備
- 4) 災害支援ナースの育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

近年の災害は広範囲に甚大な被害が頻発しており、平時から有事に向けた準備が必要とされる。令和6年4月より災害支援ナースは、改正医療法に基づき、厚生労働省が指定した研修の修了者を「災害・感染症医療従事者」として登録することとなった。そのため、災害支援ナース養成と千葉県の要請に応じて派遣調整業務を実施する。

また、発災時には情報の共有と関係機関の連携が重要であり、千葉県健康福祉部災害医療本部会議等への看護職の参加が必須となる。必要な対応策を適切に講じるために、会議における看護職能団体としての役割の明確化と医療・看護の現場である地区部会や会員施設・会員からの情報・ニーズの把握など、県内の情報収集をいち早く行い情報共有することが必要である。

成果

- 1) 九都県市合同防災訓練千葉県会場＜全体会議＞
第1回 Web配信 第2回 書面開催 第3回 集合開催 9/19
九都県市合同防災訓練千葉県会場＜部門別会議＞
第1回 5/29 第2回 7/4 第3回 9/26Web
九都県市合同防災訓練（千葉県会場）10/19
九都県市合同防災訓練（千葉市会場）8/31
大規模災害を想定したトリアージ及び通信・伝達訓練（千葉市主催）8/13
- 4) 災害支援ナースの育成
災害支援ナース養成研修（再掲）

4 地域における健康危機管理体制の強化

実施内容

4-2 新興感染症等パンデミックへの対応体制の整備

- 1) 関係機関との連携・情報共有
- 2) 感染症対策を担う看護職の育成

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

新興感染症による感染拡大は、世界的な問題であり、医療提供現場で感染症対策を安全・安心に継続するためには、情報の共有と関係機関の連携が重要となる。

必要な対応策を適切に講じるために、医療・看護の現場である会員施設・会員からの情報・ニーズの把握により県内の情報収集をいち早く行い情報共有するとともに、平時から関係機関との連携を図り、千葉県感染症対策連携協議会等への参加など看護職の視点での発言を行っていく。

併せて、感染症対策を担う看護職を育成し、現場の安全と安心を守る支援を行う。

成果

- 2) 感染症対策を担う看護職の育成
 - (1) 安全と安心を守る感染症対策の基本（再掲）
 - (2) 感染管理研修（再掲）

5 組織基盤の強化

実施内容

5-1 会員の定着・確保

- 1) 新規・再入会の促進
- 2) 継続会員への勧奨
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
- 4) 千葉県内看護師等学生に向けた協会案内
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

2025年、2040年を展望する課題への的確な対応を進めていくため、協会活動の基盤となる組織力の強化が不可欠である。

職能団体の基盤となる会員の定着・確保に向け、できるだけ多くの看護職の結集を図ることが重要である。

当協会では、2020年より健康の保持増進、疾病予防、病気や障がいがあっても自分らしい生活が送れるよう「2025年に向けた看護の挑戦 看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」の実現を目指している。実現のためには、看護政策を提案し、実行できる組織として、組織基盤の強化を図り、成長していく必要がある。

成果

- 1) 新規・再入会の促進
会員数 26,691名（うち新規入会 1,442名） 入会率 41.9%
- 2) 継続会員への勧奨
入会後のご案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 1,442名
- 3) 情報発信の強化、広報の充実
協会公式SNS運用開始に向けた検討
- 4) 千葉県内看護師等学生に向けた協会案内
 - (1) 看護学生の表彰 34校 35名
 - (2) 協会の機能と役割に係る特別講話 15校（大学4校・専門学校11校）
 - (3) 千葉内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内
令和7年度卒業生40校 2,480名
- 5) 新たな会員獲得のための方策検討
協会公式SNS運用開始に向けた検討（再掲）

5 組織基盤の強化

実施内容

5-2 看護政策推進力の強化

- 1) 地区部会の活動・体制の強化
- 2) 職能間の連携強化
- 3) 看護協会の認知度の向上

事業概要【事業経過、課題、今後の展望】

組織基盤は、重点政策の着実かつ円滑な実施の土台となるものであり、その充実と強化に取り組む必要がある。

本協会は、保健師・助産師・看護師・准看護師のすべての職能が加入できる唯一の職能団体である。それぞれの職能の専門性を生かすとともに職能間の円滑な連携・調整のもと、社会の状況、医療・介護の現場の課題、国の政策・施策の動向を踏まえ事業を推進してきた。引き続き着実に政策推進の強化に取り組む必要がある。

成果

1) 地区部会の活動・体制の強化

役員会61回（千葉4 市原6 船橋6 市川5 松戸5 東葛4 印旛4 利根6
山武5 長夷5 君津5 安房6）

連絡会24回（千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2
山武2 長夷2 君津2 安房2）

研修会23回（千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2
山武2 長夷2 君津2 安房1）

まちの保健室25回（千葉3 市原1 船橋3 市川2 松戸1 東葛2 印旛3
利根2 山武2 長夷3 君津2 安房1）

会計担当者会議 7/2

地区部会長会 7/31 1/15

2) 職能間の連携強化

四職能委員会合同会議 5/23 8/18 2/19（再掲）

3) 看護協会の認知度の向上

県民向け広報誌「げんき」Vol.2発行 25,000部

「看護の日・看護週間」中央行事 4/15～21 そごう千葉店地階ギャラリー
パネル展示（再掲）

【重点事業】

- 1 地域における看護職の定着・確保の推進
- 2 質の高い看護の提供体制の構築・推進
- 3 全世代の健康を支える看護提供体制の構築・推進
- 4 地域における健康危機管理体制の強化
- 5 組織基盤の強化

●事業計画は、定款第4条の7つの事業に沿って掲載

- I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業
- II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による、看護師等の人材確保・定着に関する事業
- III 訪問看護の推進に関する事業
- IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業
- V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業
- VI 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業
- VII その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

重点事業：強調、新規事業：太ゴシック

I 教育・研修等による看護の質の向上に関する事業

【目的】

県民に安全で安心な看護サービスを提供するため、職能団体の責任において、専門職としての生涯学習の機会を提供し看護職の資質の向上を図る。

事業計画	実 績																																								
1. 生涯学習支援 111研修 重点事業2-1 【目標】看護専門職として社会のニーズや医療の進歩 に対応できる知識・技術を高め、より質の高い看護 実践能力を習得できるように支援する。	1. 生涯学習支援（111研修中3 研修中止＋追加2 研修 合計110研修） 令和7 年度生涯学習研修 実施状況（P78～81）参照 研修実施状況 <table><tr><th>年度</th><th>定員(名)</th><th>受講者数(名)</th><th>受講率(%)</th></tr><tr><td>5 年度</td><td>8,855</td><td>4,966</td><td>56.1</td></tr><tr><td>6 年度</td><td>8,457</td><td>6,134</td><td>72.5</td></tr><tr><td>7 年度</td><td>6,967</td><td>5,708</td><td>81.9</td></tr><tr><td colspan="4">(7 年度内訳)</td></tr><tr><td>協会のみ</td><td>5,815</td><td>5,189</td><td>89.2</td></tr><tr><td>県・市委託のみ</td><td>960</td><td>421</td><td>43.9</td></tr><tr><td>ACLS協会のみ</td><td>192</td><td>98</td><td>51.0</td></tr></table> 教育部公式LINE登録者数推移（6 年9 月開設） <table><tr><th>年/月</th><th>登録者数</th></tr><tr><td>6 年10月</td><td>215</td></tr><tr><td>7 年4 月</td><td>450</td></tr><tr><td>8 年3 月</td><td>622</td></tr></table>	年度	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)	5 年度	8,855	4,966	56.1	6 年度	8,457	6,134	72.5	7 年度	6,967	5,708	81.9	(7 年度内訳)				協会のみ	5,815	5,189	89.2	県・市委託のみ	960	421	43.9	ACLS協会のみ	192	98	51.0	年/月	登録者数	6 年10月	215	7 年4 月	450	8 年3 月	622
年度	定員(名)	受講者数(名)	受講率(%)																																						
5 年度	8,855	4,966	56.1																																						
6 年度	8,457	6,134	72.5																																						
7 年度	6,967	5,708	81.9																																						
(7 年度内訳)																																									
協会のみ	5,815	5,189	89.2																																						
県・市委託のみ	960	421	43.9																																						
ACLS協会のみ	192	98	51.0																																						
年/月	登録者数																																								
6 年10月	215																																								
7 年4 月	450																																								
8 年3 月	622																																								

分類1：専門職としての活動の基盤となる研修 80研修

- ・感染管理研修（基礎編2日・感染対策強化実践編2日）
- ・准看護師のためのスキルアップ研修～フレイル予防のための食支援～
- ・AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニング BLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース
- ・皆でつくるヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）

- ・糖尿病看護の基本
- ・成長を支えるためのレジリエンス（回復力）とセルフ・コンパッション（自分を思いやる力）
- ・フレッシュセミナー（春・秋）
- ・2年目看護師として自己の成長をみつめて
- ・レポートや小論文の記述力を高めるために 他

分類1：専門職としての活動の基盤となる研修
(80研修中 77研修終了 3研修中止)

研 修 名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
准看護師のためのスキルアップ研修～フレイル予防のための食支援～	20	5	5	25.0

(受講状況 R5：6名 R6：7名)

「准看護師のためのスキルアップ研修～フレイル予防のための食支援～」アンケート n=4 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く	無回答
活用できる	2(50.0)	1(25.0)			1(25.0)
期待に沿っている	2(50.0)	1(25.0)			1(25.0)

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・講義内容がわかりやすく、実践の参考になる内容であった。
- ・講師の進行が良く、時間配分も適切だった。

研 修 名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
糖尿病看護の基本	60	50	45	75.0

「糖尿病看護の基本」アンケート n=37 名 (%)

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	25(67.6)	12(32.4)	0	0
期待に沿っている	22(59.5)	14(37.8)	1(2.7)	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・非常に勉強になりました。明日から活用させていただきます。
- ・今回の研修で糖尿病についての理解が深まりました。
- ・研修内容はとても分かりやすく、時間が足りずに聞けなかったことが残念なぐらいでした。病院勤務の看護師目線での話が聞けてとてもためになりました。

研 修 名	定員 (名)	研修 方法	受講数 (名)	受講率 (%)
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	126	105.0
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	104	86.7
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	対面	110	91.7
2年目看護師として自己の成長をみつめて	120	ライブ	58	48.3
合 計	480		398	82.9

(受講状況：R6 455名(51.7%) 全6回開催(対面4回 ライブ2回))

アンケート 研修についての感想の記述

- ・1年から2年にかけて振り返ることで、自分ができることに気づけて、成長できていることを実感できた。
- ・ネガティブな部分も肯定しつつ仕事に活かしたい。また、ポジティブさは仕事や人間関係の円滑化にもつながるため意識していきたい。
- ・他の病院の2年目の同期と話ができて楽しかった。
- ・これから仕事をしていく上でとても大切な考え方について学ぶことができ、改めて人生について考え選択し、行動につなげていきたい。
- ・自分のことを客観的に振り返ることができ、自己の成長を感じることができ、これからも精進していきたいと感じることができた。

分類2：看護・医療政策に関する研修 12研修
 ・看護補助者標準研修（看護補助体制充実加算該当パッケージ）
 ・認知症高齢者の看護実践に必要な知識
 ・災害支援ナース養成研修 他

分類2：看護・医療政策に関する研修（12研修中 12研修終了）

研 修 名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
看護補助者標準研修(看護補助体制充実加算 該当パッケージ) 1回目	20	6	6	30.0
看護補助者標準研修(看護補助体制充実加算 該当パッケージ) 2回目	20	3	3	15.0

「看護補助者標準研修（看護補助体制充実加算該当パッケージ）」アンケート
 1回目：n=6 2回目：n=3 名（%）

理解度について				
アンケート項目	良く理解	ある程度	あまり	全く
1回目	6(100)	0	0	0
2回目	3(100)	0	0	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・1つ1つの手技を3役（患者・補助者・観察者）で行うことによって、それぞれの動きや気持ちを理解することができた。また、手技でわからないことが、自ら行うことで理解が深まった。
- ・今まで支援を行っていた中で、きちんとした方法が理解し直せてよかった。

分類3：人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 6研修

分類3：人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修
 （6研修中 6研修終了）

- ・生涯学習ガイドラインの理解と活用
- ・人を育てる臨地実習
- ・実地指導者研修
- ・教育担当者研修 他

研 修 名	定員 (名)	応募数 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
生涯学習ガイドラインの理解と活用	60	28	27	45.0

「生涯学習ガイドラインの理解と活用」アンケート n=17 名（%）

アンケート項目	大いに	ある程度	あまり	全く
活用できる	8(47.1)	9(52.9)	0	0
期待に沿っている	7(41.2)	8(47.1)	2(11.8)	0

アンケート 研修の感想・意見の記述

- ・部署長としても教育委員としても生涯学習を支援する立場としてどう行動すべきか、考えるヒントがたくさんあった。
- ・組織として社会としてどう関わるべきかという重大な課題を学ぶことができた。

分類4：看護管理者を対象とした研修 8研修
 ・看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ
 ・育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修
 ・【公開講座】認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講演
 ・【公開講座】認定看護管理者教育課程セカンドレベル特別講演 他

分類4：看護管理者を対象とした研修（8研修中 8研修終了）

分類5：資格認定教育 5 研修

- ・訪問看護師養成講習会
- ・喀痰吸引指導者養成講習会
- ・令和7年度千葉県看護教員養成講習会
- ・認定看護管理者教育課程 ファーストレベル
- ・認定看護管理者教育課程 セカンドレベル 他

2. 千葉県看護研究学会 重点事業2-2

1) 第43回千葉県看護研究学会

開催日 令和7年11月7日(金)

場 所 TKP東京ベイ幕張ホール

分類5：資格認定教育（5 研修中 5 研修終了）

2. 千葉県看護研究学会

1) 第43回千葉県看護研究学会

開催日 令和7年11月7日(金)

場 所 TKP東京ベイ幕張ホール

特別講演 「私たちが創ってきた未来と創っていく未来」

講師 東京医療保健大学 宮本 千津子 氏

演 題 数 34題(研究発表21題 実践報告13題) 26施設から申込

(6年度 研究発表17題 実践報告18題 23施設から申込)

交流集会 4題(6年度 3題)

研究支援 無し(6年度 2件)

参加者数 232名(6年度 235名)

ランチョンセミナー 「健康のカギは『水』にある」

講師 株式会社日本トリム 吉行 優 氏

アンケート 学会は有意義だったか n=112 名 (%)

大変有意義だった	ある程度有意義だった	あまり有意義でなかった
62(55.4)	50(44.6)	0

アンケート 学会全体について

- ・大変有意義な時間を過ごすことができました。
- ・今後の自分の活動をより考えて行っていきたいと思いました。
- ・研究や実践報告を共有する場は重要であると感じました。
- ・昨年の優秀演題の表彰があったので、その2題も抄録に載せてほしい。
- ・事前にプログラムを電子媒体で共有してほしい。

アンケート 特別講演について n=106 名 (%)

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
56(52.8)	50(47.2)	0	0

アンケート 特別講演について

- ・未来を創ることにつながるイメージがついた。
- ・自分たちが築いていく今が、未来へのエビデンスになると考えると、日々の業務や看護をもっと丁寧に考えるきっかけになった。
- ・参加者が参加する企画もとても良かった。前向きな問いだったのでワクワクして回答できた。

アンケート 研究報告・実践報告について

- ・質問も活発で、若い方も質問にハキハキ答えられていい雰囲気だった。
- ・日常の実践現場に基づくためのものが多く良かった。

アンケート 交流集会について

- ・他の病院や施設の看護師さんの意見を聞くことができとても勉強になった。
- ・さまざまな職場の実態が聞けて学びになった。価値観が改められた。

3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進
重点事業2-3
1) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活用
(1) 講師等人材登録事業の運用

(2) 生涯学習研修における担当講師

4. 特定行為研修制度の普及・活用
重点事業2-4
1) 特定行為研修制度の理解と資格取得の推進

5. 委員会の開催
1) 教育委員会 6回
2) 看護研究委員会
3) 看護研究倫理審査委員会 3回
4) 認定看護管理者教育課程運営委員会 4回
5) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 1回

6. 医療安全対策の推進
重点事業2-5
【目的】医療関係者の医療安全対策に関する意識の向上と普及啓発を図り、医療安全管理者の育成とスキルアップの支援、関係機関との連携による医療安全対策ネットワーク構築を促進する。また、県内の医療機関へ医療安全の周知を行うとともに医療事故調査制度に関する情報を提供していくことで、県民に安全・安心な質の高い医療・看護を提供する。

アンケート ランチョンセミナー
n=72 名 (%)

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった
25(34.7)	43(59.7)	4(5.6)	0

アンケート ランチョンセミナーの感想・意見の記述
・手品のようなパフォーマンスもあり、話も面白かった。健康について考えられた。
・短い時間の中に実験を組み入れて興味をそそる話となっていた。
・学会の内容としてはあまり相応しくないと思った。

3. 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活動推進
1) 認定看護師・専門看護師・認定看護管理者の活用
(1) 講師等人材登録事業の運用
新規登録者22名（総数71名 12施設）
派遣依頼 2件
(2) 生涯学習研修における担当講師 専門・認定看護師の講師
29研修 65名

4. 特定行為研修制度の普及・活用
1) 特定行為研修制度の理解と資格取得の推進
・施設等会員代表者会
「千葉県における特定行為研修に関する課題と今後の活用について」
千葉大学大学院 看護学研究院 酒井 郁子 氏
1/20 152名
・在宅療養を支える多職種向け研修会
「在宅領域における特定行為研修修了者の活動の実態と連携」
医療法人社団小羊会 高洲訪問クリニック 田谷 美枝 氏
2/19 24名

在宅療養を支える多職種向け研修会 アンケート
n=15 名 (%)

アンケート項目	大いにできる	できる	ある程度	あまり
活用できる	5(33.3)	4(26.7)	1(6.7)	0

アンケート 研修の感想・意見の記述
・特定行為研修に興味を持ちました。
・在宅領域で実際に活躍している看護職の活動を知ることができて良かった。

5. 委員会の開催
1) 教育委員会 10/8 11/11 12/19 1/13 2/10
2) 看護研究委員会 7/31 9/18 10/29 11/20 12/3 2/26
3) 看護研究倫理審査 4件
4) 認定看護管理者教育課程運営委員会 5/9 8/26 1/29
5) 千葉県看護教員養成講習会運営委員会 1/22

6. 医療安全対策の推進

- 1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供
- (1) 相談支援
- ・医療事故報告者、施設等への相談支援
 - ・医療事故調査に関する外部委員等、支援者紹介
- (2) 情報提供
- ・顧問弁護士による医療安全に係る情報提供「看護ちば」への記事掲載
 - ・ホームページ・機関誌等で最新情報の提供
 - ・看護職賠償責任保険制度の案内
 - ・「世界患者安全の日」9/17の啓発

2) 医療安全の推進

(1) 医療安全推進講座の開催

開催日 令和7年11月10日(月)

場 所 千葉県看護会館

(2) 医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語の募集
- ・チラシによる普及啓発(ホームページに掲載)

3) 医療安全管理者の育成

- (1) 医療安全管理者養成研修会(生涯学習)
- (2) 医療安全担当者中央交流会の開催 2回

1) 医療・看護に関する相談支援、情報提供

- (1) 相談支援
- ・医療事故報告者、施設等への相談支援
 - ・医療事故調査に関する外部委員等、支援者紹介 1件
- (2) 情報提供
- ・顧問弁護士による医療安全に係る情報提供「看護ちば」への記事掲載
 - ・「世界患者安全の日」の啓発
世界患者安全の日 ホームページへ掲載

2) 医療安全の推進

(1) 医療安全推進講座の開催 11/10

テーマ 「医療版失敗学のすすめ～入門編」

参加者 104名

アンケート

n=74 名(%)

アンケート項目	とても	ある程度	あまり	全く
講演は理解できましたか	44(59.5)	30(40.5)	0(0.0)	0(0.0)
内容は業務に役立ちますか	63(85.1)	11(14.9)	0(0.0)	0(0.0)
研修全体の満足度	64(86.5)	10(13.5)	0(0.0)	0(0.0)

参加者の意見

- ・言い訳を明確にし原因を特定することでの的確な改善策をたてることができるという自部署でも実践できることを学ぶことができた。
- ・インシデントレポートの書き方と活かし方は、それを読む方の分析力によるものであることを実感した。また、レポートが罰のような思いが広がっているのも、風土であることもよくわかった。

(2) 医療安全推進の普及啓発

- ・医療安全に関する標語の募集
7年度は個人応募から施設代表応募に変更
応募総数 58施設(6年度 77施設 1135標語)
最優秀賞 「守るのは 手順の先にある命」
優秀賞 「ミスの元 したはず みたはず 言ったはず」
- ・チラシによる普及啓発(ホームページに掲載)

3) 医療安全管理者の育成

- (1) 医療安全管理者養成研修会(生涯学習再掲)
- (2) 医療安全担当者中央交流会
9/8 67名
1/14 57名 合計124名(6年度78名)

9/8 医療安全担当者のネットワークづくり

アンケート

n=59 名(%)

アンケート項目	大変	ある程度	あまり	全く
講義内容の理解度	38(64.4)	21(35.6)	0(0.0)	0(0.0)
講義の満足度	28(47.5)	31(52.5)	0(0.0)	0(0.0)
グループワークは有意義だったか	36(61.0)	22(37.3)	1(1.7)	0(0.0)

ネットワークに関しての意見

- ・施設外での交流ができた。
- ・地域で連携が取れると良いが、自分たちで立ち上げるのは敷居が高い。

グループワークについての意見

- ・対面でのグループワークはその場で悩みや相談を解決できることも多い。
- ・地区別のグループ分けで顔合わせができた良かった。

1/14 日本医療安全調査・支援センターの活動を理解し活用できる

アンケート n=47 名 (%)

アンケート項目	大変	ある程度	あまり	全く
講義内容の理解度	27(57.4)	20(42.6)	0(0.0)	0(0.0)
講義の満足度	23(48.9)	22(46.8)	2(4.3)	0(0.0)
GWで考えを整理できたか	19(40.4)	26(55.4)	1(2.1)	1(2.1)

講義についての意見

- ・事故調査センターの役割・活動がわかり、身近になった。
- ・具体的な取り組みや支援を知ることができた。

グループワークについての意見

- ・同じ役割の方のグループだったので、具体的に意見交換でき、ネットワークになりそうだった。いただいた機会を活用します。
- ・他施設の現状など知ることができて良かった。繋がることができれば、さらに有効なグループワークになる。

(3) 医療安全担当者地区交流会の開催 2地区

(3) 医療安全担当者地区交流会

市川地区 7/30 31名

船橋地区 8/20 39名 合計70名

参加者職種内訳

職種	7年度 2地区 合計	6年度 3地区 合計
看護職	49	89
看護補助者・介護士	2	0
薬剤師	1	9
リハ職	12	15
放射線技師	1	5
検査技師	1	4
臨床工学技士	1	4
栄養士	0	3
MSW	1	0
事務	1	6
その他	0	8
未記載	1	3
合 計	70	146

アンケート n=69 名 (%)

アンケート項目	強く思う	やや思う	あまり	無回答
現場で活用できるか	40(58.0)	26(37.7)	3(4.3)	0(0.0)

意見・感想

- ・チーム目標を共有し、仕組化を進めることで、現場全体の安全文化を強化できると感じた。
- ・研修は体験型で楽しく学べ、グループワークを通して協力や振り返りの大切さを実感できた。

広報 医療安全担当者地区交流会について、各職能団体へ開催通知を郵送
職能団体からの問い合わせ2件

4) 関係機関等との連携促進 5) 医療安全委員会の開催 6回 7. 図書室の運営管理 1) 図書室の管理運営 2) 資料・文献検索・レファレンス・メールによる 文献複写等の相談 等	4) 関係機関等との連携促進 医療安全研修開催情報の共有 3件 5) 医療安全委員会の開催 9/11 10/29 11/21 12/10 1/28 7. 図書室の運営管理 1) 図書室の管理運営 雑誌の保存基準の改訂 著作権法施行令第一条の三に基づき関連規程の見直し 千葉県看護協会図書室管理・運営規程 千葉県看護協会図書室利用規程 2) 資料・文献検索・レファレンス・メールによる相談 等 8. 4都県看護協会教育担当者情報交換会 参加 千葉 東京 神奈川 埼玉 1/9 2/13 3/13 Web
--	--

II 看護師等の労働環境等の改善、就業促進等による看護師等の人材確保・定着に関する事業

【目的】

ヘルシーワークプレイスを踏まえて、看護職が専門性を発揮し、働き続けられるための環境づくりを推進し、看護職の定着・確保を図る。

事業計画	実績
1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の推進、評価 重点事業1-1 【目的】看護職が働き続けられる職場づくりを目指して、看護職の定着・確保を図る。 1) 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価 2) 第6次看護職定着・確保推進計画の策定 3) 看護職定着確保対策協議会の開催 2回 4) 看護職定着確保対策事業の普及啓発 5) 労働環境改善委員会の開催 6回 2. 看護職の労働環境の向上 重点事業1-2 【目的】県内に働く看護職の確保を図るとともに、専門性を発揮しヘルシーワークプレイスを踏まえ働き続けられるための環境づくりを推進する。 1) ヘルシーワークプレイス推進事業 (1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 (2) 「ヘルシーワークプレイス推進週間(10/1～10/7)」の推進 ・ヘルシーワークプレイス交流会の開催	1. 第5次千葉県看護職定着・確保推進計画の推進、評価 1) 第5次看護職定着・確保推進計画の推進、評価 2) 第6次看護職定着・確保推進計画の策定 (1) 作業部会の開催 8/19 9/24 10/22 1/19 3) 看護職定着確保対策協議会の開催 12/25集合開催 2/4 書面会議 4) 看護職定着・確保対策事業の普及啓発 (1) 「看護ちば」、ホームページ等による広報 (2) 各種協会事業を通じた普及 5) 労働環境改善委員会の開催 8/7 9/4 11/13 12/3 1/8 2/3 2. 看護職の労働環境の向上 1) ヘルシーワークプレイス推進事業 (1) ヘルシーワークプレイス取組宣言施設の増加 応募施設3施設 (総数 19施設) (2) ヘルシーワークプレイス推進週間」の推進 10/1～10/7 ホームページ及び「看護ちば」153号 154号 155号 ・ヘルシーワークプレイス交流会 10/7 会場 看護会館 大研修室 テーマ「看護職が健康で働き続けられる職場環境づくり」

(3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習） (4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援 ・電話、メール相談 ・施設支援 2) 千葉県医療勤務環境改善支援センターにおける看護管理者支援（千葉県委託） 3. ナースセンター事業（千葉県委託）の推進 重点事業1-3 【目的】ナースセンターに登録している未就業看護職等に対する復職支援及び職業紹介を行うとともに、看護職の定着・確保に寄与する。 1) 看護職の定着・確保に係る実態調査	目的 他施設と交流することにより、自施設の職場環境改善のヒントを得る。 事例発表1 「イキイキ働きつづけられる職場づくり～時間外削減と心理的安全性の取り組み～」 事例発表2 「夜勤等負担軽減のための取り組みの工夫と採用促進のための仕組みづくり」 事例発表3 「多様な勤務形態の導入と人材確保」 講義1 「施設訪問・相談からみえてきたヘルシーワークプレイス実現に向けた看護管理者の役割」 参加者 91名（看護部長14名 看護副部長5名 看護師長38名 その他34名） アンケート 実際の事例を聞くことができ改めて認識できた、ハラスメントへの対応がわかりやすく参考になった等 (3) ヘルシーワークプレイス研修（生涯学習再掲） (4) ヘルシーワークプレイス推進アドバイザーによる相談支援 ・相談窓口による支援 延34件（6年度52件） - 相談方法 来所 3件 電話28件 メール 3件 - 相談者属性 看護管理者 延6名 個人 延28名 - 相談内容別内訳（延件数） - 看護管理者 管理体制づくり5件 ハラスメント4件 離職・定着確保2件 労働安全・メンタルヘルス対策1件 就業規則1件 - 個人 ハラスメント・いじめ12件 夜勤2件 健康不安2件 勤務時間1件 休日・有給休暇1件 教育体制1件 育児・介護との両立1件 差別や偏見1件 その他13件（人間関係4件 業務内容2件 就業活動1件 職場環境改善の報告1件 患者からの暴力1件 転職報告1件 患者虐待疑い1件 生活困窮1件 介護保険制度1件） ・施設支援 30件（6年度32件） - 支援方法 訪問面談21件 オンライン1件 電話8件 - 施設種別 病院21件 診療所1件 訪問看護ステーション2件 看護師等養成校5件 自治体1件 2) 千葉県医療勤務環境改善支援センターにおける看護管理者支援（千葉県委託） 0件 3. ナースセンター事業（千葉県委託）の推進 1) 看護職の定着確保に係る実態調査 (1) 病院看護管理者 期間 5/9～5/28 対象287施設 回収数 159施設（回収率55.4%） (2) 未就業看護職 期間 5/9～5/30 対象 153名 回収数 22名（回収率14.4%） (3) 新人看護職 期間 9/30～10/16 対象 会員施設596施設 併せてフレッシュセミナー（秋）参加の新人看護職員 回収数 659名
--	---

	(4) 訪問看護ステーション管理者 期間 6/16～6/30 対象 714施設 回収数 198施設（回収率27.7%） (5) 統括保健師 期間 6/16～6/30 対象 県及び54市町村の統括保健師 回収数 39名（回収率70.9%） (6) 再就業実態調査 期間 5/30～6/20 対象 164名 回収数 75名（回収率45.7%）
2) 看護職の無料職業紹介	2) 看護職の無料職業紹介（ ）内は6年度 eナースセンター利用者数 11,008名（11,239名） 【看護補助者の登録分除く】 ※6年度までのID登録（仮登録）を削除したため利用者数が減少した 新規求人数 1,515名（1,613名） 新規求職者数 648名（632名） 紹介者数（応募者数） 356名 延425名（425名 延501名） 就業者数 412名（363名）
3) 届出制度	3) 届出制度 (1) 届出者数 597名 代行届出数 300名 代行届出率 50.3% （6年同期 697名 代行届出数 386名 代行届出率 55.4%） (2) 一斉メール等によるeナースセンターへの登録の推進 月1回届出者にメール送信 (3) 合同就職説明会開催情報、研修会、求人情報、施設概要等の提供 (4) 届出者に対する就業支援（電話・メール等） (5) 郵送による就業調査（届出の3ヶ月後） 発送数 169名 就業者数 77名
4) 未就業看護職の就業支援	4) 未就業看護職の就業支援 (1) 看護基礎技術講習会（5～7回/月開催） 62回実施 受講者74名（延129名） 就業者47名（就業率63.5%） 内容 採血・点滴・筋肉注射・皮下注射・吸引・経管栄養 インスリン注射・膀胱留置カテーテル挿入・摘便 電子カルテ・褥瘡処置（見学）・CVポート管理（見学） 人工肛門管理（見学） アンケート 実務に役立つ 100% 技術の確認ができた 100% 知識の確認ができた 100% 就職先の選択範囲は広がった・広げることを 考えてみようと思う 87.5%
(1) 看護基礎技術講習会	
(2) 合同就職説明会	(2) 合同就職説明会の開催（年2回開催） 第1回 7/30（会場 松戸市） 東葛地域の求人施設11施設 求職者20名参加 就業者2名 第2回 11/6（会場 千葉市） 東葛地域を除く千葉県内の求人施設30施設 求職者16名 就業者5名
(3) 看護職への求人情報の提供	(3) 看護職への求人情報の提供 6月 9月 12月 3月
(4) 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置	(4) 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置 78回 相談 200名 （6年度 74回 相談 157名） 社会福祉協議会と連携した相談ブースの設置 3回 相談 8名 自治体と連携した相談ブースの設置 2回 相談 1名
(5) サテライト事業の推進	(5) サテライト事業の推進 公共職業安定所と連携した相談ブースの設置（再掲） 合同就職説明会の開催（再掲）

(6) 就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集 (7) プラチナナース研修会 (8) ナースセンター来所者、公共職業安定所相談者への就業確認 (9) 未就業者へのeラーニング研修 (10) 訪問看護基礎研修会	(6) 就業相談推進アドバイザーによる求人施設の情報収集と施設訪問 施設訪問 12件（うち1件 オンライン） 内訳 病院4件 診療所1件 介護施設4件 訪問看護ステーション3件 (7) プラチナナース研修会 7/25 ハイブリッド開催 参加者 集合18名 オンライン60名 計78名 （就業中67名 未就業者11名） アンケート結果 今後の働き方 自分のやりたいことについてよく考えたいと思った 訪問看護や高齢者施設などもう少し具体的な業務内容が知りたい かった 等 (8) ナースセンター来所者 公共職業安定所相談者への就業確認 メールでの就業確認 発送数 7,298名 就業者 108名 メール返信のない支援者へはがきでの就業確認 発送数 203名 就業 21名 (9) 未就業者へのeラーニング研修（各定員49名） 実人数43名申込 学研ナーシングサポート（GNS）28名申込 総視聴時間 201時間52分 ビジュアルナーシングメソッド（VNM）25名申込 総視聴時間 106時間35分 アンケート回収率 GNS46.4% VNM60.0% 修了証発行者21名 就業者20名 就業率46.5% (10) 訪問看護基礎研修会 1日コース（講義 技術体験）7/29 10/23 12/9 半日コース（講義のみ）7/29 9/4 Web 10/23 12/9 受講者 33名（6年度33名） 1日コース12名 半日コース21名（うちWeb12名） 訪問看護への就業 3名（9.1%） アンケート 回答者30名 回収率90.9% 「就業意欲が高まった」93.3%
5) 看護補助者の無料職業紹介	5) 看護補助者の無料職業紹介 (1) 看護補助者の無料職業紹介 eナースセンター利用者数 76名 新規求人数 393名 新規求職者数 81名 紹介者数（応募者数） 1名 就業者数 4名 看護補助者への相談支援 193件 (2) 看護補助者の仕事に関する周知・広報活動 周知媒体等の配布 チラシを作成し、ハローワークに配架 千葉労働局経由にてハローワーク、福祉人材センター、介護労働 安定センターへWeb情報発信の相互連携を実施 (3) 求職者に対する看護補助者の仕事に関する説明会 「看護補助者を知るお仕事セミナー」の開催 8/26 ハローワーク松戸 43名 9/3 ハローワーク成田 115名 9/5 ハローワーク千葉南 37名

	10/10 ハローワーク千葉 44名 10/27 ハローワーク市川 39名 12/10 ハローワーク船橋 52名 計 330名
	(4) 求職者に対する看護補助者の研修の提供（日本看護協会委託事業） ナースセンターによる看護補助者の就業に向けたオンデマンド研修を実施 申込者 72名（個人63名 集合9名） 受講修了者 61名（個人54名 集合7名） アンケート ・1日の流れがイメージできた 100% ・ナースセンターの研修や相談対応に満足 98.4% 自由記載 ・看護補助者の業務内容を具体的に理解することができた。 ・接遇やストレスマネジメントもあり、学びが多く大変参考になった。 ・看護チームの一員としての役割や責任を実感し、就業意欲が高まった。
	(5) 看護補助者の仕事見学会 参加者 4名（施設4件） 見学会後の就業者 1名
	(6) 看護補助者の合同就職説明会 ハローワーク松戸 8/26（看護補助者のお仕事セミナー当日開催） 東葛地域の求人施設5施設 求職者43名参加 ハローワーク船橋 12/10（看護補助者のお仕事セミナー当日開催） 船橋地域の求人施設7施設 求職者52名参加
6) ナースセンター事業の広報	6) ナースセンター事業の広報 リーフレットの配布 「看護ちば」153号 154号 155号掲載 ハローワーク、福祉人材センターと相互に連携し、ホームページにイベント等の情報を掲載した。 NuPSの周知 日本看護協会作成のラミネート定規を看護学校等卒業生に配布 公式SNSの開設 Instagramの運用 投稿総数93件 フォロワー数1,007名 インタラクション2,947件 閲覧数58,478件 フォロワー以外の閲覧数53% 閲覧回数上位年齢層25～35歳
7) ナースセンター運営委員会	7) ナースセンター運営委員会 1/8
8) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携	8) 日本看護協会・中央ナースセンターと公共職業安定所等との連携 (1) 2025年度ナースセンター事業担当者会議（日本看護協会主催）4/16 (2) 無料職業紹介事業の事務効率化の検討に関わるワーキンググループ説明会（日本看護協会主催）6/16 (3) 2025年度都道府県ナースセンター長会議（日本看護協会主催）7/23 (4) 令和7年度ナースセンター・ハローワーク連携事業調整会議（千葉県主催）8/27 3/5 (5) ナースセンター及びNuPSの効果的な周知に関する研修（日本看護協会主催）9/1 (6) 2025年度ナースセンター事業担当者情報交換会（日本看護協会主催）9/1 12/8 3/18 (7) 令和7年度都道府県担当者及び都道府県ナースセンター担当者説明会（厚生労働省医政局看護課主催）1/15
9) 看護職への相談支援	9) 看護職への相談支援 4,040名（6年度3,566名）

	2) 求職者に対する看護補助者の研修の提供（日本看護協会委託事業）（再掲） ナースセンターによる看護補助者の就業に向けたオンデマンド研修 申込者 72名（個人63名 集合9名） 受講修了者 61名（個人54名 集合7名） 3) NuPSの周知（再掲） 日本看護協会作成のラミネート定規を看護学校等卒業生に配布		
Ⅲ 訪問看護の推進に関する事業			
【目的】 在宅医療の中核を担う訪問看護の質の向上を図り、安定的な供給を図る。			
事業計画	実 績		
1. 訪問看護推進事業（千葉県委託） 重点事業3-2 【目的】 地域における看護提供体制の強化に向け、在宅医療の中核を担う訪問看護について、県民や看護職等専門職からの相談に応じるとともに、関係職種との理解を深め役割分担と連携強化を図ることにより訪問看護を推進する。 併せて訪問看護に従事する看護職を増やすため、各種事業を通して訪問看護への関心を高め、就業への動機づけとする。 1) 訪問看護推進協議会の開催 2回 2) 訪問看護に関する総合相談 3) 地域連携フォーラムの開催 4) 訪問看護に係る周知	1. 訪問看護推進事業 1) 訪問看護推進協議会の開催 1/26 目的 当県における訪問看護の課題把握と対策の検討及び資質向上のための対策等を協議する 議題 (1) 当県の訪問看護の現状（県報告） (2) 当協会の訪問看護推進事業について (3) 今後の当県の訪問看護推進について 2) 訪問看護に関する総合相談 相談日 6/1より電話相談回数を1回/週へ変更 メールフォームからの相談は随時受付 相談件数 33件（6年度49件） 相談者 看護職15件 事務職4件 その他医療職4件 県民4件 その他福祉職4件 その他1件 不明1件 相談者属性 訪問看護従事者20件 その他従事者9件 県民4件 相談内容 訪問看護サービスに関すること14件 運営管理に関すること9件 介護に関すること2件 その他8件 3) 地域連携フォーラム 11/29 Web 参加者29名（病院15名中外来9名 訪問看護10名 その他4名） 内容 在宅看護専門看護師 訪問看護師からの連携事例報告 グループディスカッション 自身の目指す看護連携の形について考える 対象 県内で就業する看護職 アンケート n=20 名（%） <table border="1"> <tr> <td>目標の達成度</td><td>達成・やや達成19(95.0)</td></tr> </table> 4) 訪問看護に係る周知 ホームページを活用した訪問看護に関する情報発信 「訪問看護に関する相談窓口」の掲載（6月から新規掲載） アクセス数（6～3月） 342回 （6年度205回）	目標の達成度	達成・やや達成19(95.0)
目標の達成度	達成・やや達成19(95.0)		

Ⅳ 県民の健康・福祉の増進に関する事業

【目的】

看護を通して、県民の健康の保持増進に寄与するとともに、看護への理解を深める。

事業計画	実 績																																																																						
1.「看護の日・看護週間」事業 重点事業1-4 【目的】若年層を中心とした県民に、実際の看護体験を伝え、看護への興味・関心を深め、看護職への就業促進を図る。 1) 令和7年度「看護の日・看護週間」事業 (1) 中央行事の開催 開催日 令和7年4月15日（火）～21日（月） 場 所 そごうギャラリー 内 容 看護の日PR展示 (2) 地区部会での行事の開催 開催日 各地区部会で設定した日 会 場 地区部会ごとに決定した施設 内 容 若年層をターゲットとした看護の魅力が伝わる内容 2) 実行委員会の開催 2回 2.「まちの保健室」事業 【目的】県民が気軽に自身や家族の健康について相談ができる場の確保を図るとともに、時代に応じた健康問題を取り上げ、予防の観点から健康教育を実施する。	1.「看護の日・看護週間」事業 1) 令和7年度「看護の日・看護週間」事業 (1) 中央行事の開催 開催日 令和7年4月15日（火）～21日（月） 場 所 そごう千葉店地階ギャラリー 内 容 千葉県看護協会の活動紹介 看護の日PR 看護の魅力紹介 5月各地区「看護の日行事」の広報 (2) 地区部会での行事の開催 <table><tr><th>地区</th><th>開催日</th><th>会 場</th><th>7年度 (名)</th><th>6年度 (名)</th></tr><tr><td>千葉</td><td>5/10</td><td>イオンタウンおゆみ野</td><td>381</td><td>192</td></tr><tr><td>市原</td><td>5/11</td><td>ユニモちはら台</td><td>224</td><td>229</td></tr><tr><td>船橋</td><td>5/10</td><td>ユアエルム八千代台</td><td>156</td><td>209</td></tr><tr><td>市川</td><td>5/11</td><td>市川市生涯学習センター</td><td>104</td><td>72</td></tr><tr><td>松戸</td><td>5/16</td><td>ヤオコー松戸上本郷店</td><td>67</td><td>81</td></tr><tr><td>東葛</td><td>5/17</td><td>モラージュ柏</td><td>103</td><td>134</td></tr><tr><td>印旛</td><td>5/10</td><td>夢咲くら館</td><td>20</td><td>55</td></tr><tr><td>利根</td><td>5/10</td><td>イオンモール銚子</td><td>226</td><td>202</td></tr><tr><td>山武</td><td>5/11</td><td>東金サンピア</td><td>87</td><td>85</td></tr><tr><td>長夷</td><td>5/10</td><td>おおたきショッピングプラザオリブ</td><td>54</td><td>60</td></tr><tr><td>君津</td><td>5/10</td><td>君津中央病院4階講堂</td><td>25</td><td>7</td></tr><tr><td>安房</td><td>5/10</td><td>安房医療福祉専門学校看護科小池ホール</td><td>18</td><td>16</td></tr><tr><td colspan="3">合計(延べ人数)</td><td>1,465</td><td>1,342</td></tr></table> 2) 実行委員会の開催 2回 7/31 1/15 2.「まちの保健室」事業	地区	開催日	会 場	7年度 (名)	6年度 (名)	千葉	5/10	イオンタウンおゆみ野	381	192	市原	5/11	ユニモちはら台	224	229	船橋	5/10	ユアエルム八千代台	156	209	市川	5/11	市川市生涯学習センター	104	72	松戸	5/16	ヤオコー松戸上本郷店	67	81	東葛	5/17	モラージュ柏	103	134	印旛	5/10	夢咲くら館	20	55	利根	5/10	イオンモール銚子	226	202	山武	5/11	東金サンピア	87	85	長夷	5/10	おおたきショッピングプラザオリブ	54	60	君津	5/10	君津中央病院4階講堂	25	7	安房	5/10	安房医療福祉専門学校看護科小池ホール	18	16	合計(延べ人数)			1,465	1,342
地区	開催日	会 場	7年度 (名)	6年度 (名)																																																																			
千葉	5/10	イオンタウンおゆみ野	381	192																																																																			
市原	5/11	ユニモちはら台	224	229																																																																			
船橋	5/10	ユアエルム八千代台	156	209																																																																			
市川	5/11	市川市生涯学習センター	104	72																																																																			
松戸	5/16	ヤオコー松戸上本郷店	67	81																																																																			
東葛	5/17	モラージュ柏	103	134																																																																			
印旛	5/10	夢咲くら館	20	55																																																																			
利根	5/10	イオンモール銚子	226	202																																																																			
山武	5/11	東金サンピア	87	85																																																																			
長夷	5/10	おおたきショッピングプラザオリブ	54	60																																																																			
君津	5/10	君津中央病院4階講堂	25	7																																																																			
安房	5/10	安房医療福祉専門学校看護科小池ホール	18	16																																																																			
合計(延べ人数)			1,465	1,342																																																																			

1) 常設型・イベント型の開催

1) 常設型・イベント型の開催

地区	7 年度				6 年度			
	実施回数(回)		参加者(名)		実施回数(回)		参加者(名)	
	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント	常設	イベント
千葉	1	2	558	897	1	1	379	571
市原		1		293		1		116
船橋	2	1	127	191	2	1	55	175
市川	2		125		3		248	
松戸	1		66		1		66	
東葛	2		525		2		230	
印旛	3		45		2	1	44	26
利根	2		134		3		205	
山武		2		253		2		254
長夷	3		89		3		53	
君津		2		281	1	1	57	106
安房		1		91		1		274
合 計	16	9	1,669	2,006	18	8	1,337	1,522

2) 県民へのPR

2) 県民へのPR

協会広報誌「げんき」vol.2に特集記事を掲載

市町村広報誌の掲載

市川市（市川地区 7/12 1/31）

銚子市（利根地区 9/27 11/15）

3. 自殺予防対策

3. 自殺予防対策

【目的】

- 1 「健康問題」を始め様々な悩みの原因について受け止め、ゲートキーパーの役割として、相談先の紹介等解決に向けた支援を行う「心の総合相談窓口」を継続する。
- 2 県内看護職が、自他共に活かせるメンタルヘルス対策を習得し、看護の資質の向上を図る。

1) 心の総合相談窓口

- (1) 専用電話・専用メールによる対応

		7 年度	6 年度
相談件数(件)	延数	145	171
相談方法	電話相談	108	144
	メール相談	37	27
相談者数(名)	実数	126	158
相談者背景	県民	89	120
	看護職	10	13
	その他	27	25

希死念慮の訴え件数 8 件

	相談方法	7 年度	6 年度	5 年度
相談件数	電話	4	0	7
	メール	4	3	5

(2) 平常時における連携 ・災害支援ナース派遣調整合同訓練等 ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 2) 災害支援ナースの派遣調整（千葉県委託） 3) 災害対策委員会の開催 6. 感染症対策事業 重点事業 4-2 【目的】新興感染症等の感染対策に関する最新の知識、技術を習得し、看護の対象者や自身及び職場の感染を防ぎ、安全な看護を実践できる看護職を育成する。 1) 支援体制の整備 2) 感染症対策を担う看護職の育成 (1) 安全と安心を守る感染症対策の基本（生涯学習） (2) 感染管理研修（基礎編 2 日・感染対策強化実践編 2 日）（生涯学習） 3) 感染症対策委員会の開催 6 回 7. 災害支援ナース養成研修（生涯学習） 8. 事業継続計画（BCP）の検討	(2) 平常時における連携 ・災害支援ナースのリスト管理（千葉県委託事業） ・災害支援ナース派遣調整合同訓練等 開催なし ・九都県市合同防災訓練、市町村等訓練への参加 九都県市合同防災訓練（千葉県会場）10/19 場所 海上自衛隊 館山航空基地第2グラウンド（館山市） 参加者 災害支援ナース 4 名 協会長と協会職員 2 名 九都県市合同防災訓練（千葉市会場）8/31 場所 JR幕張豊砂駅前平面駐車場 参加者 役員 1 名 千葉地区部会長 大規模災害を想定したトリアージ及び通信・伝達訓練 8/31 場所 千葉市役所本庁舎 1 階正庁 参加者 千葉地区部会 2 名 2) 災害支援ナースの派遣調整（千葉県委託） 名簿の管理・更新 照会先 67件 249名 3) 災害対策委員会の開催 （今年度休止） 6. 感染症対策事業 1) 支援体制の整備 2) 感染症対策を担う看護職の育成 (1) 安全と安心を守る感染症対策の基本（再掲） (2) 感染管理研修（基礎編 2 日 感染対策強化実践編 2 日）（再掲） 3) 感染症対策委員会の開催 7/24 9/25 10/23 11/27 2/26 7. 災害支援ナース養成研修（生涯学習） 8. 事業継続計画（BCP）の検討
V 看護に関する調査研究、看護業務の開発及び看護制度への提言等に関する事業	
【目的】 看護を取り巻く課題を明確にし、看護職の専門性や看護の発展に寄与する。	
事業計画	実績
1. 職能委員会 1) 保健師職能委員会 6 回 2) 助産師職能委員会 6 回 3) 看護師職能委員会（領域Ⅰ） 6 回 4) 看護師職能委員会（領域Ⅱ） 6 回 2. 職能集会・交流会 1) 職能集会 開催日 令和 7 年 6 月 25 日（水） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール	1. 職能委員会 1) 保健師職能委員会 8/14 10/1 11/10 12/23 1/27 3/16 2) 助産師職能委員会 9/3 10/8 11/5 12/10 1/7 2/4 3) 看護師職能委員会（領域Ⅰ） 7/9 9/3 10/7 12/6 1/28 3/12 4) 看護師職能委員会（領域Ⅱ） 7/31 8/22 9/4 11/27 12/4 2/5 2. 職能集会・交流会 1) 職能集会 開催日 令和 7 年 6 月 25 日（水） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール (1) 保健師職能集会 参加者38名 (2) 助産師職能集会 参加者10名 (3) 看護師職能集会（領域Ⅰ） 参加者143名 (4) 看護師職能集会（領域Ⅱ） 参加者39名

2) 各職能別交流会 (1) 保健師職能交流会 1 回 (2) 助産師職能交流会 1 回 (3) 看護師職能交流会（領域Ⅰ） 1 回 (4) 看護師職能交流会（領域Ⅱ） 1 回 3. 四職能委員長会 3 回 重点事業 3-1 4. 県行政等への要望・意見具申（看護制度） 1) 県の令和8年度予算等に関する要望書の提出 2) 県議会等の活動への協力依頼等 3) 千葉県医療審議会等への参画 4) 協定締結等による役割の明確化と連携強化 重点事業 4-1 4-2 5. 看護関連施策に対する提言（看護制度） 1) 国・日本看護協会等の要望・提言 2) 資格認定制度の推進 (1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 重点事業 2-3 (2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進 重点事業 2-4	2) 各職能別交流会 (1) 保健師職能交流会 1/27 (2) 助産師職能交流会（管理者・中堅） 2/25 2/4 (3) 看護師職能交流会（領域Ⅰ） 12/6 (4) 看護師職能交流会（領域Ⅱ） 11/27 3. 四職能委員長会 四職能委員会合同会議 5/23 8/18 2/19 4. 県行政等への要望・意見具申（看護制度） 1) 県の令和8年度予算等に関する要望書の提出 7/29 11/4 2) 県議会等の活動への協力依頼等 8/20 9/11 3) 千葉県医療審議会等への参画 千葉県・市町村等関係会議 56回 関係団体等会議 66回 5. 看護関連施策に対する提言（看護制度） 1) 国・日本看護協会等の要望・提言 2) 資格認定制度の推進 (1) 専門看護師、認定看護師等の資格取得の促進 (2) 特定行為に係る看護師の研修制度の普及・資格取得の推進
---	--

Ⅵ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

【目的】

在宅療養者に質の高い訪問看護及び居宅介護支援を提供するとともに、訪問看護の普及啓発等を通して在宅療養者の環境づくりに寄与する。

事業計画	実 績																																																																								
1. 訪問看護事業	1. 訪問看護事業（訪問看護師常勤換算 現在7.5人）																																																																								
1) 質の高い訪問看護の提供	<table><tr><th></th><th>7 年度</th><th>6 年度</th><th>増減</th></tr><tr><td colspan="4">1) 質の高い訪問看護の提供</td></tr><tr><td colspan="2">利用者数延(名)</td><td>733</td><td>840</td><td>△107</td></tr><tr><td rowspan="2">内訳</td><td>介護保険利用者</td><td>391</td><td>449</td><td>△58</td></tr><tr><td>医療保険利用者</td><td>342</td><td>391</td><td>△49</td></tr><tr><td colspan="2">訪問回数(回)</td><td>4,744</td><td>5,198</td><td>△454</td></tr><tr><td rowspan="2">内訳</td><td>介護保険利用者</td><td>2,025</td><td>2,269</td><td>△244</td></tr><tr><td>医療保険利用者</td><td>2,719</td><td>2,929</td><td>△210</td></tr><tr><td colspan="4">2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援</td></tr><tr><td colspan="2">在宅での看取り(名)</td><td>7</td><td>13</td><td>△6</td></tr><tr><td colspan="2">人工呼吸器装着患者(名)</td><td>5</td><td>5</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="2">小児(名)</td><td>3</td><td>3</td><td>0</td></tr><tr><td colspan="4">3) 24時間 緊急時の訪問看護の提供</td></tr><tr><td colspan="2">緊急訪問延(回)</td><td>131</td><td>159</td><td>△28</td></tr><tr><td colspan="2">休日緊急訪問延(回)</td><td>42</td><td>60</td><td>△18</td></tr></table>					7 年度	6 年度	増減	1) 質の高い訪問看護の提供				利用者数延(名)		733	840	△107	内訳	介護保険利用者	391	449	△58	医療保険利用者	342	391	△49	訪問回数(回)		4,744	5,198	△454	内訳	介護保険利用者	2,025	2,269	△244	医療保険利用者	2,719	2,929	△210	2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援				在宅での看取り(名)		7	13	△6	人工呼吸器装着患者(名)		5	5	0	小児(名)		3	3	0	3) 24時間 緊急時の訪問看護の提供				緊急訪問延(回)		131	159	△28	休日緊急訪問延(回)		42	60	△18
	7 年度	6 年度	増減																																																																						
1) 質の高い訪問看護の提供																																																																									
利用者数延(名)		733	840	△107																																																																					
内訳	介護保険利用者	391	449	△58																																																																					
	医療保険利用者	342	391	△49																																																																					
訪問回数(回)		4,744	5,198	△454																																																																					
内訳	介護保険利用者	2,025	2,269	△244																																																																					
	医療保険利用者	2,719	2,929	△210																																																																					
2) 在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援																																																																									
在宅での看取り(名)		7	13	△6																																																																					
人工呼吸器装着患者(名)		5	5	0																																																																					
小児(名)		3	3	0																																																																					
3) 24時間 緊急時の訪問看護の提供																																																																									
緊急訪問延(回)		131	159	△28																																																																					
休日緊急訪問延(回)		42	60	△18																																																																					

2）在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援

3）24時間、緊急時の訪問看護の提供

2. 居宅介護支援事業

1）ケアプランの提供

2）地域のネットワークづくり

3）利用者の申請代行

3. 訪問看護の普及

1）訪問看護研修生の受入れ

2）看護学生実習の受入れ

4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備

1）在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援

2）ちば訪問看護ステーション定例会議 10回

3）ちば訪問看護ステーション運営会議 3回

5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携

1）医療機関、介護支援専門員等との連携

(1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加

2）在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援

(1) 重度認知症事例対応

千葉市認知症初期集中支援チーム活動

令和7年度第1回千葉市認知症疾患医療連携協議会 8/20

令和7年度千葉市認知症施策推進会議 3/31

(2) 看護体制見直し強化

7月から介護保険「看護体制強化加算Ⅱ（再開）」と医療保険「精神科訪問看護基本療養費」の算定を開始

(3) 精神科訪問看護準備のため研修・見学 9/11

千葉県総合救急災害医療センター

精神科リハビリテーションセンター、アウトリーチセンター

(4) 困難事例 高次脳機能障害者等の支援体制強化

・千葉刑務所見学、懇親会 7/10（千葉市健康福祉局健康福祉部福祉課福祉まるとサポートセンター主催）

・千葉県地域リハビリテーション導入研修 7/29

・第34回重症心身障害連絡協議会、懇親会 7/30

・第8回高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会 10/10

・第5回千葉市神経難病意見交換会 1/28

・第9回医療者向け高次脳機能障害就労支援研修会 2/7

2. 居宅介護支援事業

(ケアマネジャー常勤換算 現在1.0人)

	令和7年度	令和6年度	増減
1)ケアプランの提供			
ケアプラン作成(件)	374	375	△1
2)地域のネットワークづくり(居宅サービス事業者との連携)			
担当者会議(回)	28	48	△20
3)利用者支援(介護認定支援業務)			
利用者の申請代行(件)	34	40	△6

3. 訪問看護の普及

1）訪問看護研修生 0名

2）看護学生実習の受入れ 7校 36名 延べ60日間

4. 地域ニーズに応じた運営体制の整備

1）在宅ホスピス・医療ニーズの高い患者家族への支援

ALS利用者に関わる複数の介護事業所に対して呼吸器等吸引研修 7件

2）ちば訪問看護ステーション定例会議 11回

4/10 5/20 6/17 7/15 9/9 10/21 11/18 12/16 1/20 2/17 3/18

3）ちば訪問看護ステーション運営会議2回 4/10 2/17

5. 医療機関・介護サービス事業所及び他職種との連携

1）医療機関、介護支援専門員等との連携

(1) 地域連携の会・交流会、ケア担当者会議への参加 18回

4/23 5/12 5/29 6/10 6/13 6/24 7/4 7/7 7/25 8/25 9/10 9/21 9/29 10/29 11/13 11/26 12/11 3/20

(2) 聞き取り調査

目的 要望や事業所を決める要件の実態把握

対象 居宅介護事業所（22事業所） 病院・診療所（11か所）

期間 4月～8月

調査結果

【利用者に訪問看護を導入する理由】33施設:複数回答可 (%)	
医療的処置の実施	100.0
緊急時対応	90.9
定期的な身体観察	84.8
訪問リハビリに付随した看護の提供	72.7
看護師による身体的ケアの提供	69.7
家族指導・家族支援	9.1

【訪問看護ステーション(事業所)を決める要件】33施設:複数回答可 (%)	
緊急対応ができる	100.0
連絡・連携がとりやすい	84.8
医療的処置ができる	78.8
PT/OT等他の職種が併設されている	66.7
利用者の居住場所から近い	60.6
利用者・家族の希望	33.3
利用者や家族へ生活指導ができる	30.3
土日祝日・夜間の対応ができる	24.2
看護ケアが安心して提供してもらえる	21.2
周囲の人からの紹介	18.2
多職種(医師やヘルパー業者など)との調整ができる	9.1
HPなどの広報から情報を得る	0.0

2) 利用者確保のための広報活動

2) 利用者確保のための広報活動

美浜区民フェスティバルにおける介護相談健康相談 10/5

認知症カフェにおける介護相談健康相談

10/8 (100名) 10/14 (9名) 10/20 (12名) 11/12 (80名) 11/28 (11名)

6. 職員の資質の向上

6. 職員の資質の向上

1) 事例検討ミーティング 6回

1) 事例検討ミーティング6回 4/10 5/20 6/17 9/9 11/18 1/20

2) 研修会・学会等への参加

2) 研修会・学会等への参加 12名

3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加

3) 地域の行事・交流会、連絡会等への参加(再掲)

美浜区民フェスティバルにて健康指導実施

認知症カフェにおける介護相談、健康相談

10/8 (100名) 10/14 (9名) 10/20 (12名) 11/12 (80名) 11/28 (11名)

美浜区民フェスティバルにおける介護相談、健康相談 10/5 (352人)

4) 訪問看護師クリニカルラダーの活用

4) 訪問看護師クリニカルラダーの活用

クリニカルラダーの運用と研修計画の立案、遂行

7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進

7. ちば訪問看護ステーション未来づくり計画の推進

1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的な取り組み

1) 看護協会立の訪問看護ステーションとしての公益的・先駆的・基幹的な取り組み

千葉市認知症初期集中支援推進事業 会議12回 対象事例8件

令和7年度在宅療養を支える多職種向け研修会主催 2/19 Web

「在宅領域における特定行為研修修了者の活動の実態と連携」

医療法人社団小羊会 高洲訪問クリニック 田谷 美枝 氏

参加者 24名

2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり

2) 職員が働きやすく、魅力ある職場づくり

スタッフが自主的にステーション運営のための活動

(1) BCPの作成

(2) 業務改善(学生オリエンテーションの効率化運用、緊急対応の役割分担、有休取得推進等)

3) 経営の安定化	3) 経営の安定化 看護師1人1日当たり訪問回数2.9件（前年3.3件 目標訪問回数3.4件以上）
4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会の開催 1回	4) 看護協会ちば訪問看護ステーション運営評価委員会 3/24

VII その他この法人が目的を達成するために必要な事業

【目的】 1. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、地域の特性を考慮した看護の提供及び保健知識の普及を行う。 2. 情報提供及び広報を行う。 3. 当協会会員に対する相互扶助等の（福利厚生）事業を行う。 4. 県民の健康な生活の実現に貢献するために、公益社団法人としての組織運営を円滑・適正に行う。	
--	--

事業計画	実績
【公益目的事業】 1. 地区部会活動事業 重点事業5-2 【目的】 地域において、看護職の資質の向上を図るとともに、医療の担い手として誇りをもち、安心して働き続けられる環境づくりと地域のニーズに応える保健・医療・福祉活動を推進することにより、看護を通じて県民の健康な生活の実現に貢献することを目的とする。 1) 具体的な地区部会活動 (1) 役員会 5回程度 (2) 連絡会 2回 (3) 研修会 2回程度 (4) まちの保健室の開催（再掲） (5) 「看護の日・看護週間」事業（再掲） (6) その他、地区特有の事業 2) 地区部会長会の開催 2回 3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 重点事業3-1 2. 広報事業 1) ホームページの充実 2) 機関誌「看護ちば」の発行 3回 3) SNSの検討	【公益目的事業】 1. 地区部会活動事業 1) 具体的な地区部会活動 (1) 役員会61回 （千葉4 市原6 船橋6 市川5 松戸5 東葛4 印旛4 利根6 山武5 長夷5 君津5 安房6） (2) 連絡会24回 （千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房2） (3) 研修会23回 （千葉2 市原2 船橋2 市川2 松戸2 東葛2 印旛2 利根2 山武2 長夷2 君津2 安房1） (4) まちの保健室の開催（再掲） (5) 「看護の日」「看護週間」事業（再掲） (6) その他、地区特有の事業 会計担当者会議 7/2 2) 地区部会長会の開催 7/31 1/15 3) 地域連携強化と多職種連携会議への参画 医療審議会等外部会議71回 （千葉3 市原10 船橋8 市川4 松戸9 東葛4 印旛6 利根5 山武8 長夷8 君津4 安房2） 地域イベント事業等への協力21回 （千葉2 市原3 船橋1 松戸2 印旛2 山武2 長夷1 君津2 安房6） 2. 広報事業 1) ホームページの充実 アクセス数 延369,002件（前年度比 90.4%） 更新回数 304回（前年度 314回） 2) 機関誌「看護ちば」の発行 3回 153号（7月） 154号（11月） 155号（3月） 3) SNSの検討 SNSワーキンググループの設置・開催 4回 1/6 1/22 2/4 3/9

4) 広報検討会議の開催 12回 5) 広報委員会の開催 6回	4) 広報検討会議の開催 9回 4/23 7/16 8/20 9/24 10/22 11/26 12/24 1/28 2/25 5) 広報委員会の開催 5回 9/1 10/31 11/28 1/30 2/27
【収益事業】 1. 販売手数料及び出展広告に関する事業 1) 看護関連図書の紹介 2) 出展広告掲載業者の募集 3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会） 2. 会員サービス・福祉の充実等 1) 会員への相談支援、情報提供 2) 看護職の表彰 3) 慶弔見舞金等の給付 4) 会員福利厚生サービスの実施・広報	【収益事業】 1. 販売手数料及び出展広告に関する事業 1) 看護関連図書の紹介 2) 出展広告掲載業者の募集 3) 会員管理受託業務及び代議員選出受託業務（日本看護協会） 2. 会員サービス・福祉の充実等 1) 会員への相談支援、情報提供 2) 看護職の表彰 千葉県看護協会長表彰 360名 春の叙勲 7名（瑞宝双光章 4名 瑞宝単光章 3名） 秋の叙勲 3名（瑞宝単光章 3名） 日本看護協会長表彰 5名 3) 慶弔見舞金等の給付 弔慰金 2件 4) 会員福利厚生サービスの実施・広報 (1) 会員福利厚生サービス提供内容 東京ディズニリゾート®・コーポレートプログラム利用券 延べ応募者数1,053名 当選者数 500名 利用者数 366名（利用率73.2%） S-QUE新人看護職員研修（e-ラーニング）の提供 26名 (2) 看護ちばへの掲載 153号 155号
【法人会計】 1. 組織運営に関する会議等の開催 1) 定時総会 開催日 令和7年6月25日（水） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール 2) 理事会 6回 3) 監事監査 2回 4) 施設等会員代表者会 2回 5) 地区部会長会（再掲） 2回 6) 職能委員会（再掲） 各6回 7) 推薦委員会 6回 8) 常任委員会（再掲） 6回 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会	【法人会計】 1. 組織運営に関する会議等の開催 1) 定時総会 開催日 令和7年6月25日（水） 場 所 TKP東京ベイ幕張ホール 出席者 258名 委任状 17,816名 審議事項 第1号議案 令和6年度決算報告及び監査報告について 第2号議案 令和7年度改選役員及び推薦委員の選任について 第3号議案 令和7年度会員以外の者からの監事の選任について 第4号議案 定款変更について 第5号議案 2026年度公益社団法人日本看護協会通常総会 代議員・予備代議員の選出について 2) 理事会 5/15 6/25 7/23 10/16 12/11 1/15 2/9（書面）3/5 3) 監事監査 5/8 11/13 4) 施設等会員代表者会 7/23 1/20 Web 5) 地区部会長会（再掲） 2回 6) 職能委員会（再掲） 各6回 7) 推薦委員会 5回 9/8 10/20 11/10 1/26 3/9 8) 常任委員会（再掲） 6回 教育委員会 労働環境改善委員会 医療安全委員会 広報委員会

会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会 感染症対策委員会 9) 特別委員会 ナースセンター運営委員会 (再掲) 認定看護管理者教育課程運営委員会 (再掲) 看護職定着確保対策協議会 (再掲) 看護研究倫理審査委員会 (再掲) 10) 関係団体との連携会議 (千葉県看護連盟等)	会員増促進委員会 看護研究委員会 災害対策委員会 (休会) 感染症対策委員会 9) 特別委員会 ナースセンター運営委員会 (再掲) 認定看護管理者教育課程運営委員会 (再掲) 看護職定着確保対策協議会 (再掲) 看護研究倫理審査委員会 (再掲) 10) 関係団体との連携会議 (千葉県看護連盟等) (1) 千葉県看護連盟 ①合同役員会 10/14 ②合同研修会 2/9
2. 会員増の促進 重点事業5-1 1) 新規・再入会の促進 (1) 入会特典の充実 (2) 入会促進ツールの活用 2) 継続会員への勧奨 3) 千葉県内看護師等学生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 (2) 協会の機能と役割に係る特別講話 (3) 式典への出席 (4) 千葉県看護学生研究発表会への支援 4) 会員増促進委員会の開催 6回 3. 公益社団法人に係る届出事務 (千葉県知事等) 1) 令和8年度事業計画・収支予算等の提出 2) 令和6年度定期報告 (事業報告・決算報告等) 3) 役員等の変更登記及び届出 4. 日本看護協会との連携 1) 通常総会 2) 法人会員会・理事会	2. 会員増の促進 会員数 26,691名 (うち新規入会 1,442名) 入会率 41.9% (6年度から 1,100名減 うち新規入会者数は 438名) 1) 新規・再入会の促進 (1) 入会特典の充実 (再掲) (2) 入会促進ツールの活用 ①施設向け 延べ104施設 入会案内 1,644部 看護協会ガイドブック (千葉県版) 1,744部 かんごちゃんしおり型・カード型ツール (入会QRコード付) 1,798枚 等 ②看護学生向け 40校 2,668名 かんごちゃんしおり型ツール・看護協会ガイドブック (千葉県版) 等 2) 継続会員への勧奨 入会後のご案内「入会されたあなたへ～information～」等の送付 1,442名 3) 千葉県内看護師等学生に向けた協会案内 (1) 看護学生の表彰 34校 35名 (2) 協会の機能と役割に係る特別講話 15校 (大学4校・専門学校11校) (3) 式典への出席 千葉内看護師等学校・養成所 入学式・戴帽式等 17校 卒業式・学位授与式等 15校 (4) 千葉県看護学生研究発表会への支援 (5) 千葉県内看護師等学校・養成所卒業生に向けた協会案内 卒業生 2,480名 (40校) 4) 会員増促進委員会の開催 7/30 9/24 10/22 11/26 1/28 2/25 3. 公益社団法人に係る届出事務 (千葉県知事等) 1) 令和8年度事業計画・収支予算等の提出 3/26 2) 令和6年度定期報告 (事業報告・決算報告等) 6/30 3) 役員等の変更登記及び届出 役員の変更登記 8/13 変更届 9/24 定款変更に係る変更届 8/5 4. 日本看護協会との連携 1) 通常総会 6/11 代議員28名 全国職能別交流集会 6/12 2) 法人会員会・理事会 5/9 6/11 7/24・25 9/19 11/27・28 2/19・20

3) 地区別法人委員会 4) 全国職能委員長会 5) その他関連会議等 5. 行政等との連携 重点事業3-1 1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画 2) 関係団体との連携 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 1) 研修の実施 (1) 担当業務に係る外部研修等の受講	3) 地区別法人委員会 10/9・10 地区別職能委員長会 10/10 4) 全国職能委員長会 8/1 3/6 5) その他関連会議等 5. 行政等との連携 1) 千葉県及び市町村主催の会議等への参画(再掲) 2) 関係団体との連携 行事等への後援等 39件 6. 役員・職員の資質の向上と福利厚生 1) 研修の実施 (1) 担当業務に係る外部研修等の受講 職業紹介責任者研修 4/23 2名 令和7年自殺予防ゲートキーパーオンライン講座 4/20～7/20 1名 千葉県保険医協会駐車禁止除外標章に関する講習会 6/10 2名 精神科訪問看護に使えるアセスメント～GAF尺度による評価と看護モデル～ 7/1 1名 千葉市健康福祉局健康福祉部福祉課福祉まるとサポートセンター主催 千葉刑務所ツアー 7/10 2名 令和7年度公益法人運営に関する勉強会第1回「基礎編」(公益制度部門及び公益会計部門) 7/16 5名 令和7年度認知症初期集中支援チーム員研修会 7/19 1名 第2回JCHO千葉病院地域連携意見交換会 7/25 1名 千葉県地域リハビリテーション導入研修 7/29 1名 第34回千葉県重症心身障害連絡協議会年度大会 7/30 1名 オンライン研修 最新の褥瘡ケア 8/18 1名 令和7年度第1回千葉市認知症疾患医療連携協議会意見交換会 8/20 1名 第29回 日本看護管理学会学術集会 8/22, 23 2名 看護管理者ビギナー研修～主任の役割と看護管理～ 8/28・29 1名 日本看護学会学術集会 9/12～9/14 2名 千葉県総合救急災害医療センター精神科リハビリテーションアウトリーチセンター見学 9/20 3名 令和7年度在宅ケア研修会 9/21 1名 令和7年度地域緩和ケア支援事業第1回緩和ケア研修会 9/25 1名 2025年度都道府県看護協会図書室担当者研修会 10/7 1名 医療現場のハラスメント対策 10/7 1名 第8回高次脳機能障害生活版ジョブコーチ支援研修会 10/10 1名 令和7年度訪問看護師指導者研修会 10/11 1名 日本訪問看護財団訪問看護管理者セミナー 10/11 1名 2025年第2回みはま地域連携会勉強会腹膜透析の地域連携 10/16 1名 令和7年度千葉県ハラスメント研修 10/17 1名 令和7年度暮らしの場づくりサポート事業事例報告会 10/25 1名 令和7年度プライマリーケア学術集会ポートフォリオ症例検討会 10/26 1名 訪問看護サミット2025 11/8 1名 社会保障研究会「目指すべき共生の地域づくりとは」 11/13 1名 第11回在宅連携カンファレンス報告会 11/26 2名 タスク・シフト/シェアでの看護職の役割 12/7 1名 急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本 12/11 1名 第14回日本公衆衛生看護学会学術集会 12/13・14 2名
---	--

	日本看護協会看護職賠償責任保険制度研修会 12/17 1名 がん医療の再審知識と患者家族の療養支援 1/14 2名 Excel徹底活用術＜3＞データ分析編Ver.4 1/15 1名 医療介護福祉政策研究フォーラム新春座談会 1/22 1名 新興感染症対応力強化事業研修 1/23 1名 第5回千葉市神経難病意見交換会 1/28 1名 令和7年度公益法人運営に関する勉強会第2回「実務編」（公益法人会計） 2/1 3名 日本看護サミット2025 2/5 5名 皆でつくるヘルシーワークプレイス 2/5 1名 第9回医療者向け高次脳機能障害就労支援研修会 2/7 1名 第14回千葉県緩和医療学会学術集会 2/14 2名 その人らしい生き方を支える意思決定への支援 2/19 1名 東京ウィーク'26第12回CareTEX東京 2/25・26 2名 令和7年度医療事故調査制度支援団体統轄者セミナー 3/1 1名 令和7年度公益通報者保護法の改正内容に関する説明会 3/12 2名 令和8年度診療報酬改定セミナー 3/27 8名
(2) 集合研修の実施	(2) 集合研修の実施
(3) デジタル化推進のための人材の育成	(3) デジタル化推進のための人材の育成
	受講 65講座修了 累計5,865分 内容 Excel UiPath AppSheet セキュリティ対策 LookerStudio 生成AI notebookLM
2) 健康診断及びインフルエンザ等予防接種	2) 健康診断及びインフルエンザ等予防接種
3) 有給休暇の取得促進	3) 有給休暇の取得促進
7. 協会資産の管理	7. 協会資産の管理
1) 看護会館等の管理	1) 看護会館等の管理
(1) 看護会館の管理	(1) 看護会館の管理
(2) 協会物品の管理	(2) 協会物品の管理
(3) 公用車の管理	(3) 公用車の管理
2) 情報資産の管理・活用	2) 情報資産の管理・活用
(1) グループウェア、ファイルサーバー等による 情報共有	(1) グループウェア、ファイルサーバー等による情報共有
(2) 情報管理システムの管理・運用	(2) 情報管理システムの管理・運用
(3) 情報リテラシー教育	(3) 情報リテラシー教育
3) 看護会館の再整備	3) 看護会館の再整備
4) 資金運用	4) 資金運用

令和7年度 生涯学習研修 実施状況

★県委託研修 ☆市委託研修

分類	ラダー	No	研修名	研修 方法	開催年月日				定員 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
分類1 専門職としての活動の基盤となる研修（80研修中 77研修終了 3研修中止）											
新人～IV	新人～IV	001	安全と安心を守る感染対策の基本	対面	9/1				60	45	75.0%
	II～IV	002	感染管理研修（基礎編2日・感染対策強化実践編2日）	対面	6/5	6/6	10/9	10/10	50	47	94.0%
	新人～IV	003	多職種による入退院支援（公開研修 訪問看護師養成講習会と合同）	対面	9/3				60	66	110.0%
	新人	004	准看護師のスキルアップ研修～フレイル予防のための食支援～	対面	9/1				20	5	25.0%
		005	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （6/7 AM）	e-ラン 対面演習 半日	6/7				15	14	93.3%
		006	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （6/7 PM）	e-ラン 対面演習 半日	6/7				15	8	53.3%
		007	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （7/19 AM）	e-ラン 対面演習 半日	7/19				12	10	83.3%
		008	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （7/19 PM）	e-ラン 対面演習 半日	7/19				12	2	16.7%
		009	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （9/13 AM）	e-ラン 対面演習 半日	9/13				12	5	41.7%
		010	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （9/13 PM）	e-ラン 対面演習 半日	9/13				12	2	16.7%
		011	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （10/11 AM）	e-ラン 対面演習 半日	10/11				12	7	58.3%
		012	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （10/11 PM）	e-ラン 対面演習 半日	10/11				12	8	66.7%
		013	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （11/1 AM）	e-ラン 対面演習 半日	11/1				15	12	80.0%
		014	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （11/1 PM）	e-ラン 対面演習 半日	11/1				15	3	20.0%
		015	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （2/14 AM）	e-ラン 対面演習 半日	2/14				12	9	75.0%
		016	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングBLS（一次救命処置） HeartCode BLSコース （2/14 PM）	e-ラン 対面演習 半日	2/14				12	3	25.0%
	I～IV	017	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングACLS（二次救命処置） HeartCode（10/18）	e-ラン 対面演習 1日	10/18				18	5	27.8%
	I～IV	018	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングACLS（二次救命処置） HeartCode（12/20）	e-ラン 対面演習 1日	12/20				18	10	55.6%
	I～IV	019	AHA（アメリカ心臓協会）心肺蘇生法トレーニングACLS（二次救命処置）プロバイダーコース（8/9～8/10）	対面	8/9	8/10				中止	
	I～IV	020	医療から在宅につながる支える看護	ライブ	7/24	7/30			80	58	72.5%
	新人～IV	021	外来における在宅療養支援能力向上のための研修	e-ラン /対面	7/22				50	31	62.0%
		022	高齢者の尊厳を守り日常生活を支える看護	ライブ	7/22	7/30			80	56	70.0%
	新～IV MI～IV	023	皆でつくるヘルシーワークプレイス（健康で安全な職場）	ライブ	2/5				40	46	115.0%
	新人～III	024	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害	対面	6/10				50	39	78.0%
		024	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 循環・意識障害	ライブ	6/10				50	35	70.0%
		025	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状	対面	8/22				50	33	66.0%

分類	ラダー	No	研修名	研修 方法	開催年月日				定員 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
新人～Ⅲ		025	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 呼吸・腹部症状	ライブ	8/22				50	45	90.0%
		026	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 運動器・脳神経	対面	9/5				30	23	76.7%
		026	フィジカルアセスメントの基本を学ぼう 運動器・脳神経	ライブ	9/5				30	29	96.7%
Ⅰ～Ⅲ	027	小児のフィジカルアセスメント	ライブ	8/5				40	28	70.0%	
新人～Ⅳ	028	糖尿病看護の基本	ライブ	7/17				60	45	75.0%	
新人～Ⅳ	029	急性期から回復期へつなぐ皮膚排泄ケアの基本 －スキンケアの基礎知識と褥瘡予防ケア－	ライブ	12/11				100	117	117.0%	
新人～Ⅳ	030	最新のがん医療の知識と看護師の役割	ライブ	11/21				60	49	81.7%	
新人～Ⅳ	031	最新のがん医療と看護（薬物療法・放射線療法）	ライブ	12/18				60	46	76.7%	
新人～Ⅳ	032	最新のがん医療と看護（患者と家族の療養支援）	ライブ	1/14				60	51	85.0%	
新人～Ⅲ	033	医療安全Ⅰ　～危険予知トレーニングKYT～	対面	9/10				60	48	80.0%	
Ⅲ～Ⅳ	034	医療安全Ⅱ　～チームステップス～	対面	10/17				70	68	97.1%	
Ⅲ～Ⅳ	035	医療安全Ⅲ　～医療事故事例と看護記録を法的視点で学ぶ～	対面	11/11				80	79	98.8%	
Ⅰ～Ⅲ	036	リーダーを始めるひとのためのコーチング	対面	6/11				80	103	128.8%	
新人～Ⅳ	037	より良い人間関係を築くためのアサーション	対面	7/30				100	73	73.0%	
Ⅰ～Ⅲ	038	リーダーシップ研修 ～チーム力アップをめざすファシリテーションの技法～	対面	1/29	1/30			100	76	76.0%	
新人～Ⅳ	039	アンガーマネジメントのコツを知ってストレス対策	ライブ	7/2				60	73	121.7%	
Ⅱ～Ⅳ	040	成長を支えるためのレジリエンス（回復力）と セルフコンパッション（自分を思いやる力）	ライブ	9/25				70	42	60.0%	
Ⅱ～Ⅳ	041	成長を支えるためのレジリエンス（回復力）と セルフコンパッション（自分を思いやる力）	対面	10/29				70	39	55.7%	
Ⅱ～Ⅳ	042	ハラスメントのない職場環境を目指して	ライブ	1/27				60	51	85.0%	
新人～Ⅳ	043	看護実践における看護倫理	ライブ	12/5				80	56	70.0%	
Ⅰ～Ⅳ	044	その人らしい生き方を支える意思決定への支援 ～倫理綱領や事例検討から学ぶ～	対面	2/19				60	48	80.0%	
Ⅰ～Ⅳ	045	アドバンス・ケア・プランニング（ACP）を学ぼう	ライブ	7/28				100	88	88.0%	
新人	046 ～ 052	フレッシュセミナー（春）	対面	5/15	5/20	5/22	5/23	720	715	99.3%	
			ライブ	5/16	5/26	5/29		120	186	155.0%	
	046 ～ 052	フレッシュセミナー（秋）	対面	9/30	10/2	10/3	10/6	720	678	94.2%	
			ライブ	10/1	10/14	10/16		120	176	146.7%	
	053	★新人看護職員研修（実習有）	ライブ	11/5					中止		
	054	★新人看護職員研修 ～情報管理・感染管理～	ライブ	5/19				35	7	20.0%	
	055	★新人看護職員研修 ～摂食・嚥下障害のある患者の食事介助・基本姿勢と態度～	ライブ	5/21				35	10	28.6%	
	056	★新人看護職員研修 ～フィジカルアセスメント～	ライブ	5/28				35	13	37.1%	
	057	★新人看護職員研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	5/30				35	10	28.6%	
	058	★新人看護職員研修 ～心電図・心肺蘇生法（BLS）～	ライブ	6/11				35	11	31.4%	
	059	★新人看護職員研修 ～スキンケア～	ライブ	6/12				35	7	20.0%	
	060	★新人看護職員研修 ～物品管理と経済効果・災害対策～	ライブ	6/19				35	5	14.3%	
	061	★新人看護職員研修 ～コミュニケーションの技法・死後のケア～	ライブ	6/30				35	11	31.4%	
	062	★新人助産師研修（実習有）	ライブ	12/10					中止		
	063	★新人助産師研修 ～産科医療補償制度・CTG判読～	ライブ	5/21				20	2	10.0%	
	064	★新人助産師研修 ～ハイリスク妊産婦ケア～	ライブ	5/23				20	2	10.0%	
	065	★新人助産師研修 ～与薬の技術と薬剤管理・医療安全～	ライブ	5/30				20	1	5.0%	
	066	★新人助産師研修 ～新生児のフィジカルアセスメントとケア～	ライブ	6/13				20	2	10.0%	

分類	ラダー	No	研修名	研修 方法	開催年月日				定員 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
	新人	067	★新人助産師研修 ～糖代謝異常妊産婦へのケア～	ライブ	7/10				20	2	10.0%
		068	★新人助産師研修 ～産科救急・助産ケアの実際～	ライブ	7/11				20	3	15.0%
		069	★新人助産師研修 ～母乳育児～	ライブ	8/6				20	4	20.0%
		070	★新人助産師研修 ～家族への支援・看護実践のリフレクション～	ライブ	8/7				20	4	20.0%
	I	071	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	9/11				120	126	105.0%
		072	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	9/12				120	104	86.7%
		073	2年目看護師として自己の成長を見つめて	対面	9/16				120	110	91.7%
		074	2年目看護師として自己の成長を見つめて	ライブ	9/26				120	58	48.3%
	I～IV	075	看護研究 基礎編①、基礎編②、基礎編③、基礎編④	対面	5/27	7/28	8/19 8/20	9/17	35	27	77.1%
	I～IV	076	看護研究 基礎編① (No.85の聴講参加) ～研究テーマの決定と文献検索～	対面	5/27				5	8	160.0%
	I～IV	077	看護研究 基礎編② (No.85の聴講参加) ～研究計画書をつくる～	対面	7/28				5	7	140.0%
	I～IV	078	看護研究 基礎編③ (No.85の聴講参加) ～データ収集と分析 (質・量)～	対面	8/19	8/20			5	10	200.0%
	I～IV	079	看護研究 基礎編④ (No.85の聴講参加) ～発表・論文作成～	対面	9/17				5	6	120.0%
	I～IV	080	レポートや小論文の記述力を高めるために	対面	12/4	12/11			40	15	37.5%
分類2 看護・医療政策に関する研修 (12研修中 12研修終了)											
	II～IV	081	JNAインターネット配信 医療安全管理者養成研修会	e-ラン /対面	10/28				80	81	101.3%
	I～IV	082	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	7/29				120	125	104.2%
	I～IV	083	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	10/15				120	119	99.2%
	I～IV	084	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	12/19				120	112	93.3%
	I～IV	085	認知症高齢者の看護実践に必要な知識 【認知症ケア加算対応】	対面	1/28				120	86	71.7%
	II～IV	086	★☆認知症対応力向上研修 【認知症ケア加算対応】	ライブ/ 対面	11/18 11/19	11/26	12/5		160	98	61.3%
	新人～IV	087	災害支援ナース養成研修	e-ラン 20時間 集合研修 2日	8/1	8/8			60	31	51.7%
	新人～IV	088	災害支援ナース養成研修	e-ラン 20時間 集合研修 2日	12/9	12/17			60	47	78.3%
	II～IV	089	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 (基礎編)	ライブ/ 対面	7/26	8/23	9/27		20	18	90.0%
	II～IV	090	★医療的ケア児等在宅移行支援研修 (応用編)	ライブ/ 対面	10/18	11/22			20	16	80.0%
	補助者	091	【新規】看護補助者標準研修 (看護補助体制充実加算該当パッケージ)	e-ラン /対面	10/24				20	6	30.0%
	補助者	092	【新規】看護補助者標準研修 (看護補助体制充実加算該当パッケージ)	e-ラン /対面	10/29				20	3	15.0%
分類3 人材育成や教育支援を行う者を対象とした研修 (6研修中 6研修終了)											
	II～IV	093	【新規】[JNAオンデマンド研修]生涯学習ガイドラインの理解と活用	対面	8/5				60	27	45.0%
	II～III	094	人を育てる臨地実習	対面	8/26	8/27			50	49	98.0%
	II～III	095	人を育てる臨地実習	ライブ	10/16	10/17			50	35	70.0%
	I～II	096	★実地指導者研修	対面	6/3	6/12	6/13		60	32	53.3%
	II～III	097	★実地指導者研修	ライブ	12/23	12/24	12/25		60	50	83.3%
	I～II	098	★教育担当者研修	対面	10/21 10/23	10/30 11/14	12/15		50	29	58.0%

分類	ラダー	No	研修名	研修 方法	開催年月日				定員 (名)	受講数 (名)	受講率 (%)
分類4 看護管理者を対象とした研修（8研修 8研修終了）											
	M－Ⅰ	099	看護管理者ビギナー研修～主任の役割と看護管理～	対面	8/28	8/29			100	128	128.0%
	M－Ⅰ	100	看護管理者ビギナー研修修了者フォローアップ研修	対面	1/13				50	41	82.0%
	M－Ⅱ～Ⅳ	101	看護管理者研修	対面	1/15 1/16	1/19 1/20	1/21		50	44	88.0%
	M－Ⅰ～Ⅳ	102	看護補助者の活用推進のための看護管理研修	対面	9/2				100	106	106.0%
	M－Ⅰ～Ⅳ	103	メンタルヘルス不調のラインによるケア～看護管理者の役割～	対面	9/24				50	27	54.0%
	M－Ⅰ～Ⅳ	104	育休・介護休暇等取得者の復職を支援するための研修	対面	2/3				50	10	20.0%
	M－Ⅰ～Ⅳ	105	公開講座 認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講演	対面	10/31				10	1	10.0%
	M－Ⅰ～Ⅳ	106	公開講座 認定看護管理者教育課程セカンドレベル特別講演	対面	2/20				10	2	20.0%

分類5 資格認定教育研修（5研修中 5研修終了）											
	新人～IV	107	訪問看護師養成講習会	eラン/ 対面/ ライブ	6/3	9/3	2/6		10	2	20.0%
	II～III	108	★喀痰吸引等指導者養成講習会	対面	2/17	2/18			30	29	96.7%
	III～IV	109	★令和7年度千葉県看護教員養成講習会	eラン/ 対面	4/18 ～ 1/30				40	12	30.0%
	M-I	110	第47回認定看護管理者教育課程ファーストレベル研修	ライブ/ 対面	6/17 ～ 7/18				90	79	87.8%
	M-I	111	第24回認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修	ライブ/ 対面	9/4～ 10/9 11/12 ～ 12/4				40	27	67.5%

追加研修（2研修中 2研修終了）											
	新人～IV	120	★新興感染症対応力強化事業	対面	1/23				80	43	53.8%
	新人～IV	121	トビックス研修 私たちが創ってきた未来と創っていく未来 (121～123まとめ)	ライブ/ 配信	2/4 3/19				50	37	74.0%
計									6,967	5,708	81.9%

令和7年度 協会企画研修のみ 実施状況

計									5,815	5,189	89.2%
---	--	--	--	--	--	--	--	--	-------	-------	-------

令和7年度 委託（県及び市）研修のみ 実施状況

計									960	421	43.9%
---	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	-----	-------

令和7年度 ACLS研修のみ 実施状況

計									192	98	51.0%
---	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	----	-------